



... and more about 三重大学

# 2008

**MIE**  
UNIVERSITY  
GUIDE TO MIE UNIVERSITY  
**三重大学案内**

Open  
Campus

### オープンキャンパス

2007年  
8月 3日 (金) 人文学部  
8月 6日 (月) 医学部  
8月 7日 (火) 生物資源学部  
8月 9日 (木) 教育学部  
8月10日 (金) 工学部

### 三重大学祭

2007年  
11月3日(土)、4日(日)



入学試験に関する問い合わせ

国立大学法人 三重大学 学務部入試チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 TEL 059-231-9063

<http://www.mie-u.ac.jp/nyushi/>

発行:三重大学 大学案内編集専門委員会 製作:コミュニケーションサービス



<http://www.mie-u.ac.jp/>



# 3つの“翠”

翠とはみどり色。

青々とした様子を表します。

三重大学講堂の名前にもなっている「三翠」とは、  
三重大学を囲む空のみどり・山のみどり・海のみどりのこと。

この美しい環境で、  
三翠のように輝いた大学生活を送ってください。

## 三重から世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。

～人と自然の調和・共生の中で～

### 【基本理念】

三重大学は、総合大学として、教育・研究の実績と伝統を踏まえ、「人類福祉の増進」「自然の中での人類の共生」「地域社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」を目指し、学術文化の受発信拠点となるべく、切磋琢磨する。

### 【教育の目標】

(教育全体の目標)

「感じる力」「考える力」「生きる力」がみなぎり、地域に根ざし国際的にも活躍できる人材を育成する。

(教養教育)

「感じる力」「考える力」「生きる力」とその基盤となるコミュニケーション力や豊かな教養と学問の基礎的素養を学際的な広い視野のもとで育成する。

(学部専門教育)

「感じる力」「考える力」「生きる力」とその基盤となるコミュニケーション力を、各学部専門領域の学究を通して育成する。

# 世界、日本、三重。 学ぶ場所が広がっています。

今日の国際社会の中では、世界中の様々な国や地域との交流が盛んになっています。また、中部国際空港セントレアが誕生し、世界がもっと近くなりました。三重大学がある津市のなぎさまちからは高速船で40分。今後のさらなる交流が予想されます。



## To Mie University

三重大学には、世界29の国から外国人留学生在が教育・研究のために来学しています。国際交流センターでは日本語・日本文化の教育、日本での生活及び修学上のアドバイス、留学生交流の推進を行っています。また、外国人留学生の居住施設として、外国人留学生会館、国際女子学生寄宿舎があります。

## Language Courses

タスマニア大学(オーストラリア)では英語研修、エアランゲン・ニュルンベルク大学(ドイツ)ではドイツ語研修、天津師範大学(中国)では中国語研修を行なっています。これらの大学には1年間の留学コースも準備されています。

## Agreements

学術研究の発展と国際交流の推進のため、各国の大学と大学間協定・学部間協定を結んでいます。



### 大学間協定

江蘇大学、廣西大学、西安理工大学、天津師範大学、江南大学(中国)、東国大学校、梨花女子大学校(韓国)、チェンマイ大学、カセサート大学、コンケン大学、スラナリー工科大学、アジア工科大学院(タイ)、バングラデシュ農業大学(バングラデシュ)、タスマニア大学(オーストラリア)、バレンシア州立工芸大学(スペイン)、エアランゲン・ニュルンベルク大学(ドイツ)、ノースカロライナ大学ウィルミントン校(アメリカ)、プトラマレーシア大学(マレーシア)、ポゴール農科大学(インドネシア)

### 学部間協定

人文学部 シャルル・ド・ゴールリール第3大学、リヨン政治学院(リヨン第2大学)(フランス)  
 教育学部 河南師範大学外国語学部及び教育科学学部(中国)  
 医学部 マーサー大学医学部、ウェイン州立大学医学部(アメリカ)、上海第二醫科大學、廣西醫科大學(中国)、ロストック大学医学部(ドイツ)、ザンビア大学医学部(ザンビア)  
 工学部 清華大学熱能工程系及び工程力学系、内蒙古工業大学(中国)、モンクット王ラカバン工科大学(タイ)  
 生物資源学部 釜慶国立大学校(韓国)、上海水産大学(中国)、ハッサン2世農獣医大学(モロッコ)、レイテ州立大学(フィリピン)、タマサート大学科学技術学部(タイ)

豊田 長康

学長メッセージ

# 三重大学が大切にする4つの力

“感じる力” “考える力”  
“生きる力” とその基盤となる  
“コミュニケーション力”

# NAGAYASU TOYODA

## 『いつつの支えあうかたち』

写真のモニュメントは、三翠ホールの東側に位置します。これは三重大学の5学部が、互いに支えあっている姿をシンボライズしたものです。

## どんな大学ですか？

三重大学は、地域圏大学と表現できると考えています。三重県唯一の総合国立大学であり、教育・研究活動として地域に貢献してきました。私たちのミッションとして、“地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す～人と自然の調和・共生の中で～”を掲げています。

研究活動としては、地域圏にある大学として、例えば燃料電池やがんワクチンなどの世界レベルの研究とともに、英虞湾の浄化、地域の災害対策、尾鷲の深層水、熊野古道関連の地位文化の研究など、特色ある地域に根ざした研究を意欲的に行ってきました。研究の中には、企業との共同研究も含まれます。三重大学では、大企業はもちろん、県内の多くの中小企業とも共同研究を行っています。近年、産官学連携が進み、企業との共同研究数は上昇。平成17年度の共同研究数は全国で14番目でした。これは私立大学も含めた順位ですから、地方大学としては非常に健闘している順位であると言えます。

また、例えば「みえメディカルバレー構想」は、産学官の連携を核に、成長が期待される医療や健康、福祉産業の創出と集積に向けた取り組みです。バイオ専門誌を発行している日経BPバイオセンター編集部が実施している、全国バイオクラスターのランキングにおいて、この取り組みが2004年は5位、2005年は6位、2006年は4位となりました。地方で行っている取り組みとしては、非常に高い評価を受けています。

教育目標としては、“感じる力” “考える力” “生きる力” “コミュニケーション力”の涵養を掲げています。その目標を達成するために、教育改革を積極的に推し進めており、「全学的な知的財産創出プログラムの展開」をはじめとして、この3年間で文部科学省の教育改革支援事業に7つの教育プロジェクトが採択されました。この採択数は、地方にある大学としては教育にかなりの力をいれていることを示す数だと思います。また、これとは別に「e-learningシステムを駆使したPBL教育の全学的展開」は、文部科学省の特別教育研究経費対象の教育改革事業に採択されており、三重大学の教育改革の特徴を象徴するプロジェクトとなっています。なおPBLとはproblem-based learning、project-based learningの略です。

## どんな教育を受けられますか？

PBL教育では、与えられた課題やプロジェクトに対して、学生さんが少人数のチームで意見を出し合いながら、自ら問題点を見出し、自己学習し、解決をしていきます。いくつかの学部では、以前からこのような教育を導入してきましたが、三重大学では、“モデル”というe-learningシステムを整備し、それを活用したPBL教育を、共通教育として全学的に推し進めています。

また、国際的に通用する人材の育成を目指して、教育の国際化も進めています。そのひとつが、アジアを中心とした大学間協定の締結です。これまでに多くの大学協定を結んできましたが、2007年9月から天津師範大学とダブル・ディグリープログラムを実施し、2つの学位を取得できます。具体的には、天津師範大学の学生が日本語コースで2年間学んだ後、三重大学教育学部で学び、卒業します。大学院レベルでは、このような制度がありましたが、学部レベルとしては、おそらく国立大学で初めてです。将来的には、三重大学の学生が天津でも学位を取得できるようにしたいと思っています。そして、こういった制度を大学全体にも広げたいと思っています。

## どんな力が求められますか？

現在、農業・工業革命に次いで知識情報革命が起こっていると言えます。情報が氾濫し、グローバルな知識が誰でもどこでも手に入りやすい社会で通用する人材の育成が課題です。インターネットで早く、安く情報が得られるので、それ以上の知識やサービスを提供しなければ、評価されません。私の専門は医学ですが、受診前に症状や治療法などについて、医師が驚くほどくわしく調べてこられる患者様も少なくありません。このように、知識の相対的価値は低下しており、知識を持っているだけでは評価されない時代になりつつあります。専門的な知識や技術に加えて、人間関係や人間力といった、他者から共感される力が必要なのだと思います。

専門家という言葉ひとつにしても、プロフェッショナル、エキスパート、スペシャリストと表現されていますが、学生の皆さんには“プロフェッショナル”になってもらいたいです。プロフェッショナルとは、狭い専門的な知識や技術では対応できないような環境の変化が起こっても、それに対応できる人だと思います。自分の狭い専門性の殻を破り、新しいことを生み出す力を持ってください。そのためには、しっかりと基礎学力とともに、常に自己を高めていく力が不可欠です。

そのためには、単に講義で知識を得るだけでは不十分であると考えており、三重大学が教育目標として掲げている“感じる力” “考える力” “生きる力” “コミュニケーション力”の4つの力を身につけていただく必要があると思っています。この4つの力は皆さんがプロフェッショナルになっていただくために必要な力であると考えます。

## どんな学生になってもらいたいですか？

皆さんにはプロフェッショナルとして競争社会で生き残って欲しいと同時に、公共心も育んでもらいたいです。公共心とは、時に資本主義社会を動かすほどの力を持ちます。例えば、インターネットにおけるウィキペディア。多くの人の公共心が、専門家が作った百科辞典と同等のものを作り上げています。競争社会に生き残るプロとしての能力と同時に、公共心をもって初めて、真のプロフェッショナルと呼ばれる人材になれると思っています。

三重大学では環境ISO取得に向けた取り組みも活発で、2007年中の認証取得を目指しています。環境教育の一環として学生のみなさんにも活動してもらっていますが、必ずしも大学が強制しているわけではなく、基本的には自主的に参加しています。学生が中心となって活動しているのは、珍しいことだと思います。その結果、「三重大学環境報告書2006」が、「第10回環境コミュニケーション大賞」の優秀賞を受賞しました。学生が中心となって環境マネジメントシステムを構築し、実践した結果です。この環境マインドの育成は、PBL教育と同じ意義を持っています。

三重大学の教育目標である“感じる力” “考える力” “生きる力” “コミュニケーション力”は、このように学生さんが主体的に公共心をもって実践的に行動することによって、いっそう身に付くものと思っています。皆さんには、ぜひ“真のプロフェッショナル”となることを目指して頑張っていたいだきたいです。三重大学はそのような学生さんのお手伝いをさせていただきます。

# スマイルキャンパス

## 友達と、先輩と、先生と… 笑顔がいっぱい！ 三重大ライフ

「どんな大学か」なんて、みんなの笑顔を見れば一目瞭然。想像を超える楽しい毎日が、あなたを待っています。私たちと一緒に、明日の三重大を築きましょう！

工学部 Hさん 愛知県出身  
工学部 Iさん 山口県出身



みんなのびのびとしていて、おだやかな人たちがばかりです。

人文学部 Yさん 岐阜県出身  
人文学部 Nさん 三重県出身



ぜひ三重大へ！  
楽しい大学生活が待っています！

医学部 Hさん 奈良県出身  
医学部 Wさん 和歌山県出身



男子看護学生を待っています！



海が近くて、  
広くて楽しいです。

工学部 Kさん 山口県出身  
工学部 Yさん 愛知県出身



三重は気候も人もあたたかい！  
勉強するのに最適な環境です。  
応援団で活躍中！

人文学部 Wさん 静岡県出身  
医学部 Nさん 和歌山県出身  
人文学部 Yさん 岐阜県出身



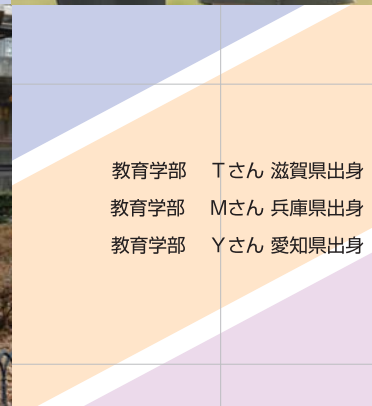
海が近いのでヤキイモやバーベキューなどをして楽しんでいます。

教育学部 Tさん 愛知県出身  
教育学部 Aさん 愛知県出身  
教育学部 Mさん 三重県出身



食堂のササミチーズカツがおいしいです。

人文学部 Nさん 奈良県出身  
人文学部 Oさん 愛知県出身



教育学部 Tさん 滋賀県出身  
教育学部 Mさん 兵庫県出身  
教育学部 Yさん 愛知県出身



三重大は自然が多くていい人たちがばかりです。

工学部 Oさん 鳥取県出身  
生物資源学部 Nさん 奈良県出身  
人文学部 Gさん 愛知県出身



アメリカンフットボール部  
1部リーグ昇格！



生物資源学部 Kさん 三重県出身  
生物資源学部 Kさん 大阪府出身



「かめっぶり」に入っています。

室内楽団でチェロを弾いています。



よさこいサークル「天狗」で活動中！

サイクリングサークルに所属しています。

三重大に入って良かった！

生物資源学部 Yさん 静岡県出身  
生物資源学部 Oさん 愛知県出身  
生物資源学部 Oさん 広島県出身



三重大はあたたかい人ばかりです！

バスケットボール「ラン&ガン」の部長です。

人文学部 Mさん 三重県出身  
人文学部 Kさん 三重県出身



三重大は三重県のどこにでも行きやすく便利です。

教育学部 Sさん 三重県出身  
教育学部 Kさん 三重県出身

# Smiles on Campus



Faculty of Humanities and Social Sciences



Faculty of Education



Faculty of Medicine



Faculty of Engineering



Faculty of Bioresources

## CONTENTS

■ 人文学部	11
■ 教育学部	17
■ 医学部	23
■ 工学部	29
■ 生物資源学部	35
■ 共通教育	41
■ 大学院等	43
■ Campus Life	45
■ Campus Map	47
■ Information about Mie	49
■ 入試データ	51
■ 就職データ	53
■ 教育研究組織・沿革	54
■ 交通案内・問い合わせ	54

◆表紙になっている三翠会館については37ページをご覧ください。  
・本誌では学生の安全を考慮し、学生の氏名は記載しておりません。学年は撮影時のものです。

# 人文学部

Faculty of Humanities  
and Social Sciences

私たちの生活を考える上で不可欠なのは、  
多様で複雑な文化や社会についての知識や洞察力。  
それを追い求めるのが人文学部です。



## 人文学部では

このような人を育てます。

人間が創り出してきた文化や社会を、より広く深く理解するための多様な知的探求を行います。人文科学や社会科学のさまざまな研究分野にふれ、それらの理論にもとづき、人間社会のかかえる問題を見いだす“感性”を、その問題の適切な解決へのアプローチを学ぶことによって、分野の壁をこえて文化や社会をとらえる総合的な視点や、古い枠にとらわれない“思考力”を育てます。また、このような学びの場を通じて、現代社会を“生きぬく”ための知的立脚点の獲得をめざします。そして、いつの時代にも変わらぬ人間の本質を見つめつつ、複雑化する現代世界と激しく変化する人間社会を正しく認識し、次々と生じる問題に立ち向かい創造性あふれる提言ができる“コミュニケーション力”を培います。卒業後は、企業、官庁、教育界からNPO、起業などの新たな分野に至るまで、地域においても国際的にも幅広く活躍できる人材を育成します。

このような人を求めます

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持ち、これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

## 文化学科

さまざまな地域の文化について、言語・文学・思想・歴史・社会・地誌等の視点から研究します。

2年次前期末に、3つの専修から1つを選びますが、地域文化専修または言語文化専修を選択した場合には、4つの地域のうち1つを重点的に研究することになります。環境文化専修を選択した場合には、地域を越えて、文化論の視点から環境に関わる諸問題に取り組み、研究を進めます。

## 文化学科のカリキュラム

	日本研究	アジア・オセアニア研究	ヨーロッパ・地中海研究	アメリカ研究
地域文化専修	日本の地域文化に関する研究	アジア・オセアニアの地域文化に関する研究	ヨーロッパ・地中海の地域文化に関する研究	アメリカの地域文化に関する研究
言語文化専修	日本の言語文化に関する研究	アジア・オセアニアの言語文化に関する研究	ヨーロッパ・地中海の言語文化に関する研究	アメリカの言語文化に関する研究
環境文化専修	世界の環境に関わる諸問題の研究			

あなたの知識欲を満たす2学科の扉が開く。

## 社会科学科

社会科学科では、法学・政治学・経済学・経営学の学習を通して、現代社会の抱える諸問題の解決に取り組みます。基礎総合・専門基礎科目などを学んだ後、2年次前期末には3年次から所属するゼミを選択し、それに応じてそれぞれのコースが決定します。

### 法政コース

法学・政治学といった学問分野を中心に学びます。

#### 統治システム履修プログラム

国内外の統治システムに関わる専門科目からなっています。

#### 生活法履修プログラム

日常生活と関わる法分野と、法哲学や法思想史などの基礎法学からなっています。

### 現代経済コース

経済学や経営学といった学問分野を中心に学びます。

#### 地域経済履修プログラム

経済の基本的な仕組みに関する専門科目と、具体的な経済問題と関わる専門科目からなっています。

#### 企業経営履修プログラム

企業経営を理解するための科目と、企業環境を正しく読み解くための専門科目からなっています。

## 取得可能な免許・資格

所定の単位を修得することにより様々な資格等が取得できます。

### 教員免許

文化学科：中学校教諭一種（国語・社会・英語）、高等学校教諭一種（国語・地理歴史・公民・英語）  
社会科学科：中学校教諭一種（社会）、高等学校教諭一種（地理歴史・公民）

### その他の資格

図書館司書、学芸員、学校図書館司書教諭



大学は自由かつ  
自分の可能性を  
広げる場所

人文学部  
社会科学科 3年  
愛知県出身

◆大きな達成感を得た大学祭

僕は1年生の時から大学祭の実行委員として活動しました。最初はそうでもなかったのですが、学年が上がるにつれ、先輩としての自覚や責任感が芽生えていきました。特に同学年のメンバーが少なかったのが、大変な面もありましたが、その分団結力は強くなったと思います。

なかでも印象深いのは、3年生の時の大学祭です。大学祭の日には、正門から入ろうとする車が多く、国道23号線が渋滞し、例年苦情が出ていました。そのため、裏門に車を誘導できるように、中央分離帯や歩道に誘導標識を立てる許可を警察に申請していたのです

が、当初は認めてもらえませんでした。そこで、どこにどのように案内を設置するのかしっかり検討し、警察だけでなく国土交通省にもお願いし、やっと認めもらうことができました。大学祭当日は渋滞が起きず、1件の苦情も出ずに終了し、大きな達成感を味わうことができました。

◆自分の可能性を信じて

2年生の時、憲法の講義がとてもわかり易く、「この先生の下なら法学をわかり易く学べるだろう」と思ったことがきっかけで、憲法ゼミナールに入りました。憲法改正論議をテーマに勉強しているのですが、例えば、現行憲法と複数の憲法

改正案のちょっとした文言の違いから、各政党がどのような国家を目指しているのかを探ったりします。

実は、高校生の頃はまだ学びたいことが決まっていなかったので、幅広く学び自分の可能性を広げられるところに進みたいと考え、人文学部を志望しました。数学が苦手でしたが、最後まであきらめず勉強し、センター試験では目標としていた点数を取ることができ、合格することができました。自分の可能性を信じて、最後まで努力することが大事だと、今は自信を持って言えます。卒業後は、大学がそうであったように、自分の可能性を広げられる企業で働きたいと思っています。

社会科学科3年次時間割の一例 (上段：前期、下段：後期)

	1・2限 (8:50~10:20)	3・4限 (10:30~12:00)	5・6限 (13:00~14:30)	7・8限 (14:40~16:10)	9・10限 (16:20~17:50)
月	福祉経済論	国際法 地方自治論	地域経済論 国際関係論	経済原論	地方自治論ゼミ
火		金融論 会社法	行政学	財政学	
水				労働法	労働法
木	国際法 地方自治論	地域経済論 国際関係論	行政学	行政法総論	行政法総論
金	経済原論		金融論 会社法		

環境の良さは  
入学してわかる  
魅力のひとつ

人文学部  
文化学科 3年  
三重県出身



◆母語習得の不思議

私は現在、言語学を専門的に勉強しています。言語の知識と同じ性質を持つ知識は人間にしか存在せず、他の生物には観察されません。また、人間の赤ちゃんは、接した言語であれば何語であっても例外なく母語として身につけることができます。この観察に基づき、言語学では、人間には生まれつき言語を習得するための仕組みが備わっていると仮定しています。

私は、この仮説に基づき、その仕組みが具体的にどのような性質を持つかを研究しています。研究の一環として、保育園に協力して頂き、幼児を対象とした言語の調査を行ったこともあります。実は、英語を中心に勉強したいと思っていたので、言語

学を専門にするつもりではありませんでした。しかし授業を受けるうちに興味を持つようになり、言語学に関する講義は積極的に受講しています。英語に関しても、ネイティブの先生による少人数の授業を通して、英語力がついてきたと感じています。

◆三重大だからできたこと

他に印象に残っているのは、共通教育の海洋実習で勢水丸に乗船したことです。3泊4日の予定が、悪天候で1日短くなってしまいましたが、三重大だからできる貴重な体験でした。オープンキャンパスとミニオープンキャンパスでは、高校生のみ皆さんの前でスピーチをする機会があり、就職活動を控えて度胸がついた

うえ、学生生活や専門分野のことを振り返り、大学の良さも再確認できました。例えば、ここには都会にはない豊かな緑や静かさがあり、落ち着いて集中することができます。図書館の蔵書も充実しているので、本当に勉強に最適な環境だと言えます。このように、入学してから気付く三重大学の魅力がたくさんあり、入学して良かったと思います。

就職活動では、いろんな企業を訪れていますが、コンビニでのアルバイトを通して、人と接するおもしろさを知ったので、人と関わる仕事に就きたいと考えています。そして卒業後に後悔しないためにも、在学中は全力で勉強するつもりです。

過去2年間の就職先・進学先の一例

公務員・教育関係等

国税庁名古屋国税局、国土交通省中部地方整備局、津法務局、静岡労働局、三重県庁、愛知県庁、桑名市役所、志摩市役所、鈴鹿市役所、津市役所、松阪市役所、安城市役所、一宮市役所、知多市役所、名古屋市役所、岐阜市役所、三重県警、愛知県警、岐阜県警、四日市市消防本部、愛知社会保険事務所、日本郵政公社、中学校教員、高等学校教員、大学職員

一般企業

旭化成ホームズ、鹿島建設、シャチハタ、シャープ、住友電装、セイコーエプソン、積水ハウス、大日本印刷、中部電力、東邦ガス、豊田自動織機、松下電器産業、日立システム、YKK、NTT西日本、NTTドコモ東海、イオン、JR東海、JR西日本、JALスカイ名古屋、名古屋鉄道、日本航空インターナショナル、日本通運、三重交通、ヤマト運輸、第三銀行、名古屋銀行、百五銀行、三重銀行、三菱東京UFJ銀行、リソナホールディングス、岡三証券、大和証券、野村證券、第一生命、東京海上日動火災、日本生命、三井住友海上火災、明治安田生命、JA三重

過去の進学先の一例

進学 (法科大学院含む)

三重大学大学院、筑波大学大学院、東京理科大学大学院、横浜国立大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、広島大学大学院、立教大学大学院、立命館大学大学院、名古屋大学法科大学院、南山大学法科大学院、名城大学法科大学院、龍谷大学法科大学院



## 共通科目

オリエンテーションセミナー、比較思想、比較史学、比較社会論、比較地域論、比較文化論、比較文学、比較言語論、言語コミュニケーション論、環境論など

## 日本研究

日本研究総論、日本の思想、日本の歴史、日本の言語、日本の文学、日本の社会、日本の風土と地誌、日本考古学特講など

## アジア・オセアニア研究

アジア・オセアニア研究総論、アジア・オセアニアの思想、アジア・オセアニアの歴史、中国の言語、アジア・オセアニアの言語、アジア・オセアニアの文学、中国の文学、アジア・オセアニアの社会、アジア・オセアニアの風土と地誌、アジア・オセアニアの民族と文化、中国語会話、中国語作文など

## ヨーロッパ・地中海研究

ヨーロッパ・地中海研究総論、ヨーロッパ・地中海の思想、ヨーロッパ・地中海の歴史、英米の言語、イギリスの文学、ドイツの言語、ドイツの文学、フランスの言語、フランスの文学、ヨーロッパ・地中海の社会、ヨーロッパ・地中海の風土と地誌、ヨーロッパ・地中海の民族と文化、英語会話(中級・上級)、英作文(中級・上級)、ドイツ語会話、フランス語会話など

## アメリカ研究

アメリカ研究総論、アメリカの思想、アメリカの歴史、英米の言語、アメリカの文学、アメリカの社会、アメリカの風土と地誌、アメリカの民族と文化、英語会話(中級・上級)、英作文(中級・上級)など

## 環境文化専修

環境特論、社会環境論、社会心理学、国際平和論、科学史・科学論、学術情報論、生命倫理論、生命論理特論など

## 共通科目

オリエンテーションセミナー、基礎総合科目(A・B)、憲法、民法総則、経営学総論、近代経済学、政治学原論、経済原論など

## 法政コース

## 統治システム履修プログラム

憲法、憲法制度論、政治学原論、政治学特論、比較政治論、国際法総論、国際組織法、国際法各論、日本政治史、日本政治史特論、行政学、政策過程論、政治思想史、現代政治理論、行政法総論、行政法各論、行政救済法、地方自治論、地方自治特論、環境法、国際関係論、西洋政治外交史、計量政治学など

## 生活法履修プログラム

民法総則、債権総論、物権法、債権各論、家族法、刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法、少年法、刑事政策、会社法、手形小切手法、商法総則、商取引法、法哲学、法哲学特論、法思想史、民事訴訟法、民事執行法、倒産法、現代裁判論、労働基準法、労働組合法など

## 現代経済コース

## 企業経営履修プログラム

経営学総論、人的資源管理論、多国籍企業論、経済原論、経済思想史、マーケティング、中小企業論、日本経済史、日本経済史特論、金融論、証券経済論、日本経済論、日本経済特論、会計学、簿記、コーポレートファイナンス、国際金融論など

## 地域経済履修プログラム

近代経済学、マクロ経済学、ミクロ経済学、国際経済論、財政学、経済数学、地方財政論、経済地理学、都市経済論、地域経済分析、産業経済論総論、産業経済論各論、計量経済学、経済統計、福祉経済論、社会保障論、経済政策、地域経済政策、西洋経済史、統計学など



人文学部 社会科学科

洪 恵子 教授

## Profile

国際刑事法を専門とし、犯罪人引渡制度や国際刑事裁判所の研究などを行っている。2003年米国コロムビア大学法科大学院客員研究員。

## 専門選択までの時間が与えられる

人文学部は、哲学・歴史学・地誌学・社会学・言語学・文学・図書館学などの専門を通じて世界の文化を広く学ぶ文化学科と、経済学・経営学・法学・政治学という専門を通じて現代社会を学ぶ社会科学科の2学科から構成されています。私は国際組織法という法律科目を担当していますが、社会科学科には他大学の法学部と同程度の質と量をそなえた法律科目が用意されており、三重大を卒業後、法科大学院を目指す学生も増えています。何より人文学部社会科学科の良いところは、入学してから1年半は幅広く経済、政治、法律の導入科目を勉強し、その過程で自分がどのコースを専門課程で志望するかを考えることができるという点です。私が所属する法政コースの場合には、憲法や行政法を学んで公務員として活躍したいという学生がいたり、民法や商法を学んで企業人として活躍したいという学生もいて、それぞれのニーズに対応できるようにカリキュラムが組まれていることが特徴的です。

## 自分の可能性を広げる

私は「国際組織法」の講義と演習(ゼミナール)を担当しています。講義では国連を中心とした国際組織法の基礎をしっかりと勉強しますが、演習ではやや間口を広げ、国際法一般に関わる問題を広く取り上げています。なにより演習で一番大事なのは学生の関心です。ですから私からこれといったテーマを与えることはなく、演習の最初の半年は学生が自分のテーマを見つけることを主眼として指導しています。とかく学生は、与えられた知識を素直に吸収するという勉強方法になれていますから、最初は何に関心があるのかという自分の問題意識を明確にするのが難しい。それを明らかにするには先行研究の文献を数多く読むことと議論をすることが必要ですが、幸い人文学部は学生の数に比べて教員数が多く、演習では教員と学生が直接議論する十分な時間があります。「なぜそう思うの?」「その事実はどこで確認したの?」という矢継ぎ早の私の質問に春はたじろいでいた学生も、秋になるころには、「先生はそうおっしゃいま

すけれど」と私の意見に反論してくるようになります。学生のそのような姿勢を見るのは、教員としてとても嬉しいものです。

国際組織法や国際法の問題を考えようとすると、その多くは海外の問題ではと思われるかもしれませんが、最近では日本でも領土紛争や人権問題に関連して国際法の知識が問題の解決に不可欠な場合も出てきています。また日本社会は経済的に海外と相互関係を深めていますので、外交官や国連職員だけが国際法を知っていれば良いのではなく、会社員や地方公務員も通常の業務の延長で外国や国際社会のルールを知ることが必要な場合も増えています。さらにこれからは日本人が国際社会のルールに従うだけではなく、逆に国際社会ではどんなルールが適切なのかというルール作りに日本人が参加することが期待されていますので、国際組織法や国際法をもっと身近に感じて、学ぶ人が増えてくれることを願っています。

# 教育学部

Faculty of Education

人が育ち、人を育てる。

そのためには何をすべきか、何をすべきでないか。

そんなことを追い求めるのが教育学部です。



## 教育学部では

主たる使命は、教師を養成することです。社会が求める教師の条件として、熱意、子供が好き、マナー・社会的常識、コミュニケーション能力、専門的な知識、実践力、問題解決能力等が挙げられています。専門的な知識や教育実践力等は、入学後に身に付けるものです。しかし、教育学部を志願する方には、とりわけ教員養成課程を志願する方には教師になりたいという強い気持ちを持っていること、子供が好きであること、少なくとも子供が嫌いでないこと、色々な事に興味を持っていることを期待したいと思います。

様々な教育内容や教育実践力を身に付けるためにも、1年次から始まる子供たちとの出会いのためにもそのような気持ちや資質を期待します。



### 学校教育教員養成課程

小学校・中学校の義務教育を一体的なものとしてとらえるとともに、社会の変化に主体的に対応し、多様な教育実践力を持つ教員の養成を目指しています。

### 生涯教育課程

学校はもとより地域の教育・文化・産業の中で、スポーツや健康並びに消費生活に関連する分野で指導的立場で活躍する人材の養成を目指しています。

### 情報教育課程

情報科学に関する専門的知識と技能を有し、地域社会に貢献する人材の養成を目指しています。

### 人間発達科学課程

本課程のキーワードは「現実の教育問題解決能力の育成」である。人間教育ができる人材を育てることを目指しています。

人が好き。  
先生を目指す人も、そうじゃない人も。

## 取得可能な免許・資格

### 学校教育教員養成課程・人間発達科学課程

小学校教諭一種、中学校教諭一種（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）、  
高等学校教諭一種（国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、家庭、工業、英語）、  
幼稚園教諭一種および特別支援学校教諭一種

### 情報教育課程

中学校教諭一種（数学）、高等学校教諭一種（数学、情報）

### 生涯教育課程

スポーツ健康科学コース：中学校教諭一種（保健体育）、高等学校教諭一種（保健体育）  
消費生活科学コース：中学校教諭一種（家庭）、高等学校教諭一種（家庭）

### その他の資格

学芸員、学校図書館司書教諭など



教育学部  
学校教育教員養成課程 3年  
三重県出身

後悔しないために  
今しか  
できないことを



教育学部  
生涯教育課程 4年  
愛知県出身

自分から動けば  
応えてくれるのが  
大学というところ

◆人に伝えることの難しさ

私は美術教育におけるデザインを専攻しています。元々デザインが苦手で、自分の油絵にはデザイン力が必要だと痛感したからです。デザインとは伝達方法です。私は油絵の中でも、自分の思いなどを表現したい、伝えたいと感じ、その方法をデザインから学ぶことにしました。そして、デザインと絵画を融合し製作したのが、3年次に創った麻布の絵本です。そこには、子どもの頃から生の絵の具の美しさを知ってもらいたいと思い、油絵を描きました。カタツリが浴びる光によって体の色が変化する1日の様子を描き、光の変化や、色の美しさを表現しました。

デザインの勉強は、私に人に伝えることの難しさを教えてくれました。同じモノを見ても、感じ方は人それぞれ。自分なりに感じる事が大事で、そしてそれをどう伝えるかがデザインだと学びました。

◆新入生歓迎企画の成功

授業以外で印象に残っていることは、教育学部自治会の自治会長を務めたこと。主な役割は、新入生歓迎企画の実行です。自分たちが新入生だった時の新歓企画がとても楽しく、新しい仲間にも同じように楽しんでもらいたいと思ったからです。しかし、スタッフの人数が少なく、春休みには朝から夜まで準備に追わ

れて大変でした。それでも、みんなで協力し合い、時には学部事務室の方が助けてくれたこともあり、無事成功を納め、後日、1年生に「新歓楽しかったよ」と言ってもらえることもできました。

大学の4年間は、時間にすると短いのですが、その価値はとても大きいと感じています。見るものや感じるものが違い、世界が一気に広がるからです。だからこそ、これから大学生になるみなさんには、進みたい方向をしっかり見据えて、今しかできないことを存分にしてもらいたいと思います。

附属施設と教育実習

教育学部には教育・研究・実践の補完設備として、4つの附属学校園（附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校、附属幼稚園）と附属教育実践総合センターがあります。

教育実践総合センターは、学生指導以外にも大学院生や現職教員の教育や研修、研究支援を行っています。視聴覚室、ビデオ教材開発室などだけでなく、地域の児童生徒、保護者、教員を対象とした心理相談室も備えられています。

3、4年次の教育実習は、主として4つの附属学校園で行われます。教育実習は、教育への取り組み方や教師観、生徒観、保護者観などそれまでの学習成果の再検討や反省をする貴重な体験です。そして生きた教育の場で得られる多くの経験は、「教師になる」ということを再認識させ、勉学へのモチベーションを高める機会でもあります。



◆アミノ酸は運動にどのような影響を与えるか

僕が所属するゼミは運動生理学がテーマで、卒論では「アミノ酸摂取が投能力に及ぼす影響」について研究しました。僕はずっと野球をしていて、大学でも準硬式野球部に入っていたので、野球を切り口として、研究しようと思ったからです。具体的には、アミノ酸を飲んだ時と飲んでいない時では、球速やコントロールにどのくらい違いがあるのかを調べました。投球だけでなく、採血による実験もしました。実際に研究し始めてみると非常に興味深く、先生の研究や、アミノ酸関係の研究室、企業などでも実験のお手伝いをさせていただくことができ、貴

重な体験ができたと思います。

◆春からは先生に

この春から愛知県で小学校教員となります。実際に教育実習に行ってみると厳しいと思うことがありました。真剣に向き合おうとするからこそ、褒める時と叱るタイミングや表現に難しさを感じました。しかし、実習を通して子どもたちから教えられることも多く、教員採用試験にチャレンジしようと思いました。

ただ、僕にとって大事なこと、つまり野球を辞めてまで試験勉強をするのは納得できなかったため、練習のない日は朝からしっかり勉強しました。その部活も、僕の学年は自分一人しかおらず、試合に

出られない時期もあり、辛い思いもしましたが、困難を乗り越え、この4年次での活動が最も充実していたと感じます。

僕が三重大を志望したのは、高校の野球部の先輩に勧められたことがきっかけです。今でこそ、先生たちとのつながりも強く、いろんな話もできますが、それも3年生の後期になってからです。それまでは、大学の先生がこんなに話しやすいとは思っていませんでした。このことにもっと早く気づき、自分から先生のところに行けば良かったと思います。大学では、自分から動かないといけません。能動的になれば大学はちゃんと応えてくれます。

過去2年間の就職状況

平成17年度の教員就職率（学校教育教員養成課程）54.4%  
平成18年度の教員就職率（学校教育教員養成課程）61.1%

本学部卒業予定者に占める三重県教員採用試験合格率は、採用予定人数に呼応して変化し、近年では合格率は著しく低下しています。合格率低下の最大の理由は、児童・生徒数の減少です。また、最初から教員採用試験を受験しない、あるいは不合格になっても講師にならずに就職する学生が多いことも挙げられます。

教員就職先（全課程）

公立小学校：三重県、愛知県、静岡県、兵庫県、大阪府、京都府、奈良県、東京都、神奈川県 公立中学校：三重県、名古屋市、兵庫県、神奈川県 公立高校：三重県 幼稚園・保育園：津市、河芸町、四日市市、松阪市、刈谷市、名古屋市、一宮市 私立学校：鈴鹿中学・高校、高田中学、津田学園中学・高校、三重高校、皇學館中学・高校、近畿大学附属新宮高校

就職先の一例（全課程）

公務員関係  
三重県庁、三重県警、鈴鹿市役所、上野市役所、三重県児童相談所、勢和村役場、伊賀町役場、阿児町役場、神奈川県警、愛知県警、警田市役所、名護市役所、信楽町役場、金沢大学、三重短期大学など

一般企業

えいそうグループ、蒲郡信用金庫、JTB、東京舞台照明、百五コンピュータソフト、三重銀コンピュータサービス、住友電装コンピュータシステムズ、システムリサーチ、平安閣、四日市ケーブルテレビ、ZTV、中日本印刷、NHK福井放送、NTTドコモ東海、第三銀行、岡三証券、東邦ガス、三重銀行、十六銀行、損害保険ジャパン、日立情報システム、大和ハウス工業、野田塾、JA三重、三交不動産、中部近鉄百貨店など

## コース専攻科目

## 国語教育コース

(1) コース説明 国語科は、国語学(音声、文法、語彙など)、日本文学(古典、近代)、漢文、書道と国語教育(小・中・高校)を学びます。  
(2) 主な授業科目 国語学講義・演習、国文学講義・演習、国語科教育法

## 数学教育コース

(1) コース説明 算数・数学の基礎及び日常生活や社会生活における論理的な思考力や直観的な見方などを身につけるための学習をします。  
(2) 主な授業科目 数学科教育法、解析学概論、代数学概論

## 音楽教育コース

(1) コース説明 演奏や理論、音楽教育、音楽療法などをバランスよく学び、社会の中で音楽を生かしていく人材を育成します。  
(2) 主な授業科目 器楽、声楽、音楽科教育法

## 保健体育コース

(1) コース説明 保健体育に関する様々な分野の専門的な知識と実技能力を基礎として、高い授業実践力を養うための学習をします。  
(2) 主な授業科目 体育実技、体育心理学、運動生理学

## 家政教育コース

(1) コース説明 人間の生活を広い視野から探究し、家庭科教育の改善に資する教員の養成をめざします。  
(2) 主な授業科目 家族関係論、被服学概論、食品学、住居学概論、保育学概論

## 特別支援教育コース

(1) コース説明 障害のある子どものニーズに応える教員の養成を行い、基礎資格(小学校または中学校教員免許)とともに特別支援教育に必要な知識と技術を習得します。  
(2) 主な授業科目 障害児教育概論、障害児の心理、障害児の病理など

## 学校教育コース

(1) コース説明 現在・過去・未来の日本および諸外国の学校教育および教育全般に関する諸問題を、教育学と教育心理学の知見を元に研究します。  
(2) 主な授業科目 学校教育入門、学校教育研究法、学校教育実地研究に関する授業科目など

## 社会科教育コース

(1) コース説明 社会科に関する専門分野を専攻することで、単なる知識や技術だけでなく、基本的な考え方や資料の分析方法を学びます。  
(2) 主な授業科目 社会科教育法、日本史概論、人文地理学概論等

## 理科教育コース

(1) コース説明 小学校、中学校の理科と高等学校の物理学、化学、生物学、地学分野を学習する教員養成コース。  
(2) 主な授業科目 基礎物理学I、基礎化学I、基礎生物学I、基礎地学I

## 美術教育コース

(1) コース説明 芸術活動・教育についての理論と実践を探究し、これからの学校・社会教育現場で求められる指導者の養成を目指しています。  
(2) 主な授業科目 絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論、美術史などの専門の授業、美術教育に関する授業科目など。

## 技術教育コース

(1) コース説明 ものづくりの技術(加工、機械、電気、栽培など)や情報技術の基本に関する理論と実際を総合的に学習します。  
(2) 主な授業科目 機械工学実験実習、電子工作、ものづくり教材研究

## 英語教育コース

(1) コース説明 英語の理論的側面と実用的側面、及び異文化理解と英語教授法を学び、英語教師に必要な知識と技術を習得します。  
(2) 主な授業科目 英語学概論、英米文学概論、英語科教育法

## 幼児教育コース

(1) コース説明 幼稚園教員一種免許の取得を目的としたコースです。幼児教育の実践と理論を学び小学校教員免許も取得できます。  
(2) 主な授業科目 幼児教育学、幼児心理学、幼児音楽など

## 情報教育課程

(1) 課程説明 教育学部のもつ多様な教育・研究能力を活用し、情報処理能力および教育的識見と実践能力を備えた人材の養成を目的としています。  
(2) 主な授業科目 コンピュータの基礎、情報教育概論、プログラミング、情報数理解析学、情報化社会論

## コース専攻科目

## スポーツ健康科学コース

(1) コース説明 生涯にわたるスポーツ活動のあり方や健康・体力問題に関する専門的な知識と高い実践力を養うための学習をします。  
(2) 主な授業科目 野外運動、スポーツ指導論、トレーニング論

## 消費生活科学コース

(1) コース説明 ライフスタイルの構築、安全で豊かな消費生活の実現に向けて理論的・実践的な専門性の高い指導者を目指します。  
(2) 主な授業科目 消費者教育論、消費生活科学実習、現場実習

## コース専攻科目

## 人間発達科学コース

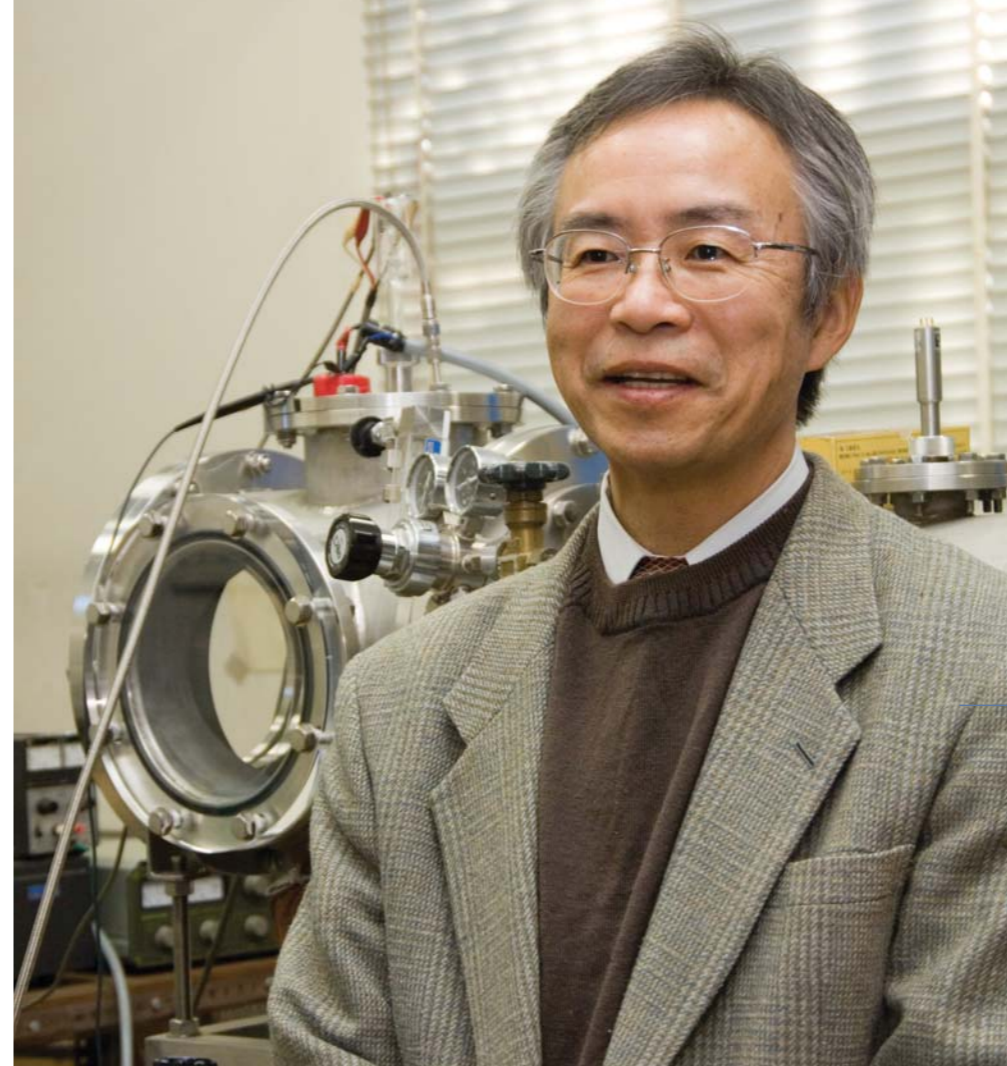
(1) コース説明 人間教育ができる人、いじめや不登校、子どもが加害者や被害者になる事件が起きないような社会を作る教育力のある、地域に根づく教育者を養成します。  
(2) 主な授業科目 人間発達の基礎、人間関係発達支援、教育実践創造に関する授業科目など

## 日本語教育コース

(1) コース説明 国内外の、日本語を母語としない外国人に、日本語を教えられる人材を育成することを目的とするコース。  
(2) 主な授業科目 日本語学概論、日本語教育概論、第二言語習得論

## 生涯教育課程

## 人間発達科学課程



## 教育学部

## 松岡 守 教授

## Profile

教育学部技術教育講座。教育学部学部長補佐(国際交流担当)。専門は放電応用。電気分野を担当しつつ、広くものづくり教育と、その延長にある知的財産教育を推進。文部科学省に三重大学として採択された知的財産教育に関する現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)代表。

教員として  
体験することが大切

私が担当しているのは、学校教育教員養成課程の技術教育コースです。電気工学関係の講義のほか、電気関係の教材開発にも取り組んでいます。また、最近ではモノづくり教育にも力を入れています。まずは、学生のみなさんにもものづくりに興味を持ってもらうところから始まり、創意工夫あるものづくりを進めます。そこで知的財産関連教育の推進が必要となり、「全学的な知的財産創出プログラムの展開」が文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)に採択されました。セミナーや講演会のほか、関連イベントも開催されました。

例えば、2006年の11月には天津師範大学附属中学校の生徒が来日。三重大学教育学部附属中で1日留学を体験し、創造アイデアロボットコンテスト三重県大会にオープン参加しました。中国には中学生向けのロボコンがないので、技術教育コースの学生たちも手伝いました。学生にとって中学生と触れ合うことは、現場体験でもあります。

単に彼らがものづくりやロボコンを経験しているだけでは足りません。教員として、体験することが大切です。教育現場は日々変化しています。地域と関わりながら、教育に対する学びを深める必要があります。

そもそも、三重大学における知財教育の始まりは、大学生向けではなく小中学生向けのものでした。以前、私が研究所勤務時代に申請した特許が20ほどあり、その関係で特許庁から依頼が来たことが発端です。まずは、何でもいいから独自のものを創ってもらい、それを人に真似されたら嫌だということを実体験として学ぶようにしました。その後大学生に応用することとなり、現在に至ります。

ものづくりと  
コミュニケーション

ものづくりは社会性の修得にも有効です。中学生にも、技術の時間にロボット製作を課し、キットを使わず班単位でゼロから作ります。リーダー、デザイナー、メカニックなど各自の分担を決め、どういうロボットを作るか考え

ます。すると最初は全く手が出ないものの、どんどん楽しくなっていきます。放課後に作るのですが、楽しくて帰りたくない生徒も出てきます。また、不登校だった生徒が登校するようになった例も聞いています。チーム制にすることで、コミュニケーションスキルが身につく、学校に打ち解けてくるのです。

教員を目指す学生は、子どもが好きなのはもちろんですが、子どもたちの心に理解を示し、話を聞くことが必要です。また、教員は自分の専門以外も知っている必要があります。当然、専門教科が好きでないといけません。例えば2年間理科嫌いな担任につくと、子どもたちも理科が嫌いになってしまうという調査があります。このように、教員にはオールマイティーな力も求められるので、みなさんには心も体も強くなってもらいたいです。そのためには学生時代にいろんな経験を積んでください。

# 医学部

Faculty of Medicine

幅広く、深い教養と倫理観、豊かな人間性を身につける。  
どんな人とも話ができるコミュニケーション能力を養う。  
苦しんでいる人の立場になって考え、問題点を見つけ出す。  
最新の医療知識と技術を、生涯を通して勉強する。  
生命の不思議、疾患や治療法の研究をする。  
医療チームの一員である医学・看護学のプロフェッショナルとして  
地域社会だけでなく、国際的な視野に立って活動する。



## 医学部では

基本理念を「確固たる使命感と倫理観を持って医療に臨み、豊かな創造力と研究能力を培い、人類の健康と福祉の向上に努めることのできる広い視野を持つ医療人を育成する」としています。

## 医学科

このような人を育てます。

医学科では、臨床医学、医学・生物学研究、あるいは公衆衛生の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域および国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力、を養います。

このような人を求めます。

- 人間性に優れた人。
- 困難に立ち向かう力強さを備えた人。
- 人類の健康と福祉の向上のため、地域および国際社会に貢献する人。

## 専門的な知識と技術、そして優しさを 持ったプロフェッショナルに。

## 看護学科

このような人を育てます。

看護学科では、人間の誕生から死に至るまでの、様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart（こころ）・Head（専門知識）・Hand（専門技術）を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護専門職者を育成します。そして、倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

このような人を求めます。

- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもつ人。
- 探究心と自立心をもって、課題に積極的に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟にものごとを考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

### 取得可能な免許・資格

受験可能な国家資格

医学科：医師国家試験

看護学科：看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験（助産課程専攻者）

取得可能な免許

看護学科：養護教諭二種





医学部  
看護学科 4年  
三重県出身

## 4年間で知った 男性看護師の 必要性

### ◆自分だからできること

僕が三重大を志望した理由は、地元であるということと、総合大学であるということです。実際に、同じバスケット部の友人から他学部の実験や講義の話聞くことは、良い刺激になりました。また、学科の先生たちも看護師や保健師の方たちなので、体験談はとても勉強になります。勉強以外のことも気軽に話せるので、大学の先生がこんなに話しやすいとは、高校生の頃は思ってもみませんでした。

まだまだ看護学科の男子学生は少なく、僕たちの学年は5人です。入学当初は戸惑うこともありましたが、4年間の間に、男性看護師の必要性を感じ

ることが多々ありました。例えば、実習で担当させていただいた男性の患者様に「男子学生で良かった」と言われたこともあります。同じ男性としてできることがたくさんあるはずなので、みなさんにも先入観を持たずに看護師を目指してもらいたいです。

### ◆命の重さを実感した実習

看護学科では、1年生の時に初めての实習を経験します。その時は、ひとりの看護師さんに付き、現場の様子や業務の流れを知ります。僕の場合、実習1日目には元気だった患者様が、2日目に亡くなるという体験をし、命の重さを改めて実感しました。3年生に

なると半年間の実習で多くの病棟や福祉施設に行き、4年生ではほとんどの時間を実習と卒論に費やします。僕は「地域看護学」を研究し、実際に中学校で運動頻度と疲れについてアンケートを取り、中学生の体力低下と健康について卒論を書きました。

実習では人と接する時間が長く、相手をちゃんと見るように意識が変わりました。患者様は同じ疾患であっても、病状や性格に個人差があります。看護師は、医療スタッフの中でも患者様に接する機会も時間も多いため、患者様自身をしっかりと見て、僕が担当で良かったと患者様に思ってもらえるような看護師になりたいと思います。

## 患者様に信頼される 家族のような医師を 目指して



医学部  
医学科 4年  
大阪府出身

### ◆医師として必要な力を培う

医学部では、2年生の後期にプレチュートリアルというカリキュラムがあります。ここでは、3年生の後期から始まるPBLチュートリアルに必要な基礎医学の知識を、徹底的に身につけます。その内容は実にハードで、3週間毎に講義とテストが実施されます。この詰め込み期間は大変ですが、実際にチュートリアルが始まると臨床面の学習が多くなるので、基礎知識が頭に入っていないと勉強についていくことができません。復習期間としてのプレチュートリアルがあるからこそ、PBLチュートリアルが活きてくるのだと思います。

PBLチュートリアルでは、毎月与え

られるテーマについて班で話し合い、調べ、能動的に学習を進めます。元々、人前で話をするのは苦手だったのですが、チュートリアルのおかげで、自分の意見を伝えられるようになり、医師として必要な力を少しずつ身につけていると実感しています。

### ◆患者様からのメールが励みに

課外活動では、「ブラック・ジャックによろしく」というサークルに入り、学年の枠を超えて勉強しています。ボランティアで「ALS（筋萎縮性側索硬化症）の患者の会」に参加した際は、患者様の送迎のお手伝いや、朗読テープを読ませてもらったりしました。まず、自分で

きることから始めようと思って参加したのですが、そこで直接、患者様やご家族にお話を伺うことができたのはありがたく、ケアや医師としての心構えについて考える良い機会となりました。さらに、そこで出会った患者様とのメールのやりとりは、とても楽しく、大きな励みとなりました。

三重大学の医学部は、先生方や先輩もみんな患者様思いで、志が高くアツイ人たちがばかりです。私も近い将来、患者様やご家族に信頼され、家族のように感じることができる医師を目指したいと思います。

## 実習

医学科および看護学科では、通常の講義・演習以外にたくさんの実習を行い、医療や保健の現場でこれまでの学習成果を深めます。

また、これらは医療への取り組み方、医師・看護師観、患者やその家族との関係、チームワークなど生きた医療を学ぶ機会です。そして「医師になる」「看護師になる」ことを再認識し、さらなる勉強へのモチベーションを高める機会でもあります。

### 患者体験実習（医学科）

外来患者様に付き添うことで、医療の実態を患者の視点から見て、良い医療とは何かを考えます。

### 医療と社会（医学科）

入学当初から継続的に地域や病院での医療に触れて、医の原点について考え、コミュニケーションの仕方、医療と社会の関わり、患者と家族の関わり、医師としてのあり方（professionalism）について学びます。

### 看護学科

基礎看護学実習Ⅰ（第1学年）、基礎看護学実習Ⅱ（第2学年）を経て、第3学年後期から領域別の臨地実習を行います。第4学年になると地域看護学実習、在宅看護実習や各自が選んだ専門領域での選択実習があり、さらに専門性を深めた看護を学びます。

## 医学部 附属病院

隣接する附属病院は最高の医療を提供する診療の場であると同時に、医学科と看護学科の学生が生きた医療を学ぶ臨床実習の場でもあり、先端医学・医療の研究開発の場でもあります。病床数は731床、1日当たりの入院患者数は約577人、外来患者数は約1,146人で、三重県内で最大規模を誇り、それぞれの診療科が互いに連携し、最高の先進医療を提供すべく活動しています。また、県内唯一の高度三次救急医療機関として、三重県全体の難しい救急医療患者を治療しています。また、医療サービスの多様性に応じて、高度先進医療を中心とした大学病院にとどまらず、三重県内を中心に、地域の基幹病院から診療所・介護施設にいたるまで、たくさんの実習協力施設が経験豊富な指導陣とともに整備され、社会のニーズに応じた、さまざまなプロフェッショナルの養成が行われています。

### 先端医療の一部

- 東海地方唯一を誇る生体肝移植
- 脳・心臓・大動脈疾患や腫瘍を切らずに治す血管内治療
- 腹腔鏡下手術
- ガンの免疫療法
- 四肢血管の細胞再生医療など

# 医学科

	知識 ←	→ 技能・態度
1年次	医学概論 分子生命科学 共通教育 医学英語	医療と社会 患者体験実習
2年次	生体の構造と機能	生体防御の分子基盤 研究室研修
3年次	社会と医学	EBM・医療倫理
4年次	PBL-チュートリアル教育 臨床実習準備教育	
5年次	共用試験CBT 共用試験OSCE (客観的臨床能力試験)	
6年次	臨床実習 (Clinical Clerkship)	
	卒業試験	医師国家試験

## PBL-チュートリアル教育とは

医学は日々進歩し、生涯勉強し続け新しい知識を取り入れていく必要があります。そのための自学自習の習慣と能力を身につけるためのカリキュラムがチュートリアルです。3年次後期から4年次終了までの1年半、週2回のチュートリアルの時間が設定されます。7人ほどのグループにチューターが1人ずつ付き、与えられた臨床症例に関する基礎医学や臨床医学の学習到達目標が提示されます。受け身となる講義は少なくなり、1日1回行われます。チューターは学習方法の指導はしますが、医学知識を与えることはしないので、各自が調べ、学習し討論を行い学習をすすめていきます。



## 共用試験とは

本学では、4年生末に、5年生以降の臨床実習に十分な、医学知識・問題解決能力、学習能力、コミュニケーション能力、基本的臨床技能が修得されているか、総合的に進級判定を行います。その評価には、それまでの試験やチューターの評価、実習の出席のほか、全国共用試験実施機構によるComputer based Testing (CBT) と客観的臨床能力試験 (OSCE) の結果も利用します。この共用試験は、全国共用試験実施機構の定める規程に基づき、本学において実施され、三重大の大学参加料のほかに、各学生の負担となる受験料が必要です。

# 看護学科

1年次	共通教育	専門教育	基礎看護学実習 I		
2年次			基礎看護学実習 II		
3年次	領域別実習		看護学ゼミナール I		
4年次	看護学ゼミナール II		選択実習	看護研究	



医学部  
地域医療学講座

## 武田 裕子 教授

### Profile

地域というコンテキストのなかで医学教育をテーマに取り組んでいます。地域医療のあり方を研究しつつ、三重県の地域医療を担う医師の養成と継続的な支援を地域と大学との連携により推進できればと考えています。

## 受験生の皆さんへ

医学部を目指している皆さんにとって、入学試験に合格することは現在の最大の目標となっていることでしょうか。全力を尽くして頑張ってください！キャンパスで会えるのを楽しみにしています。「アンパンマンのマーチ」に次のような一節があるのをご存知ですか。

なんのために生まれて なにをして生きるのか  
こたえられないなんて そんなのはいばだ！  
なにが自分のしあわせ なにをしてよこぶ  
わからないままおわる そんなのはいばだ！

私から皆さんへのメッセージは、「三重大医学部で学ぶ間に何度もこの「こたえ」を探すことになり、そして卒業してからもずっと「なにが自分のしあわせ」か、しっかりと感じられる道を歩める」ということです。

## 私の歩んでいる 医師としての道

私は、小学生の頃にシュバイツァーの伝記を読んで医師を目指すようになった。

1980年に筑波大学に入り、医学部在学中は基礎医学の研究に魅かれて、授業が終わると薬理学の研究室に通って与えられたテーマに取り組みました。最終的には臨床医になる道を選びましたが、研究者としての基礎を築きたいと医学部卒業後すぐに臨床系の大学院に進み、肺の病気の研究をしました。

大学院を修了して博士号を取得した後、ハーバード大学の教育病院であるベイスラエル病院で医師としての研修を開始しました。患者さんの問題を身近に聞いて一緒に考える医師になりたかったので、一般内科(プライマリ・ケア)の研修を受けました。帰国してからは、内科医として患者診療にあたりつつ、米国の医学教育システムのよい点を導入して医学生・研修医教育に携わりました。2000年4月に琉球大学に地域医療部講師として赴任し、自分の学んだプライマリ・ケアの楽しさや重要性を学生・研修医に伝えるための教育プログラムを開発しました。

2005年10月から東京大学医学教育国際協力研究センターの助教授となり、医学教育の研究と国際協力に携わ

りました。30年以上戦争状態の続いたアフガニスタンのカブール医科大学を支援する医学教育プロジェクトです。沖縄の地域医療、特に離島医療について考えた経験は、資源の限られたアフガニスタンでの仕事にたいへん役に立ちました。

2007年3月に三重県の寄付講座として三重大医学部に地域医療学講座が開設され、その教授に任命されました。三重県の地域医療に何が求められているのかを学び始めたところです。

「なんのために生まれてなにをして生きるのか」、いつも自分の進むべき道、やりたいことにまっすぐに取り組んでいけば、きっと道は開けます。時には転んだり、回り道をしているように感じることもあると思いますが、一つ一つの歩みが決して無駄になることはありません。自分が向かい合っていることに集中して努力を惜しまないあなた、三重大医学部はあなたを待っています。

忘れないで夢を こぼさないで涙  
だから君はとふんだ どこまでも

# 工学部

Faculty of Engineering

機械を創造し、ロボットをつくる。  
コンピュータシステムをつくり、情報を伝達する。  
地球環境の問題を考え、まちをつくる。  
社会に役立つモノづくりをするのが工学部です。



## 機械工学科

ナノマシンからロケットまで、日本の産業の"ものづくり"を支え、人とロボットの融合を計り、新エネルギーを創造し、環境に優しい社会を目指しています。

- 量子・電子機械講座
- 機能加工講座
- 環境エネルギー講座

## 電気電子工学科

ロボット・制御、エネルギー、情報・通信、ナノ電子材料など、私たちの社会生活に不可欠な科学技術に関する基礎および応用について教育研究を行います。

- 電気システム工学講座
- 電子物性工学講座
- 情報・通信システム工学講座

## 分子素材工学科

物質や現象を原子・分子のレベルで解析し、新しい機能性材料を創製する研究を行います。

- 分子設計化学講座
- 生物機能工学講座
- 素材化学講座

## 建築学科

地域から地球規模の環境および社会のニーズを踏まえた総合的見地から創造力豊かな建築活動を担う人材の育成をめざします。

- 建築計画系
- 建築環境設備系
- 建築構造系

## 情報工学科

コンピュータシステムおよびそれを用いたIT(情報技術)に関する教育や研究を行います。

- コンピュータサイエンス講座
- 知能工学講座

## 物理工学科

物質構造のしくみ、パソコン、自動車のしくみ、作り方などの基礎となる物理学、機械工学、電気電子工学を融合しナノテクノロジーなど先端技術教育も取り入れた新学科です。

- 量子工学講座
- ナノ工学講座

目に見えるものから見えないものまで、  
すべてのモノづくりはここから始まる。

### 工学部では

科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び技術の修得と社会で活躍するための実践力を養います。

### 取得可能な免許・資格

#### 高等学校教諭一種

工業：機械工学科、電気電子工学科、建築学科、情報工学科  
理科：分子素材工学科、物理工学科

#### 卒業すれば資格取得出来るもの

機械工学科：修習技術者(JABEE)(技術士1次試験免除)

#### 卒業すれば資格取得が有利になるもの

電気電子工学科：電気主任技術者、電気通信主任技術者、無線従事者免許  
建築学科：一級建築士  
全学科：技術士

#### 実務経験年数により自動的に取得できる資格

機械工学科：ボイラー・タービン主任技術者(1種、2種)  
分子素材工学科：毒物劇物取扱責任者  
全学科：安全管理者





工学部  
建築学科 4年  
静岡県出身

身につけた力が  
自信となり  
希望職内定へ

◆自分で考えた設計が優秀作品に

私が所属しているのは建築計画系の研究室で、都市計画や都市設計を研究テーマとしています。計画系では建築計画や建築史に関する基礎知識を学習するほか、設計条件に対応した建築物や都市空間の設計計画を行うために必要な能力を身につけなければなりません。中でも最も心に残っているのが、2年生から始まる「建築設計製図」の授業です。

ここでは、与えられたテーマと敷地に対して社会のニーズや予想される問題、解決策などを考えて設計します。3年生の時には友達と3人で「地区計画」を立てました。一人で考えるのとは違い、いろんな意見が出てくるので、良い経験に

なりました。課題提出前は辛いこともありますがお互いに励まし合い乗り越えたおかげで仲間との絆が強くなったと思います。また、同じ年の「複合施設」ではいろいろな機能や用途、可能性など複眼的に考え設計しました。就職活動の時期と重なっていたので大変でしたが、おかげで優秀作品に選ばれ、自信につながりました。

◆授業以外でも多くを学ぶ

私は建築業界を志望し、ハウスメーカーの内定をいただくことができました。3年生の冬から本格的に就職活動を始め、説明会や面接に挑みました。面接でプレゼンを行うことが多いので、友達

同士で練習したこともあります。

また、2年生の春から大学近くの料亭でアルバイトを続けてきたのですが、ここでは着物で接客するため、作法や言葉使いなど勉強になることがたくさんあり、いろんなことに気がつくようになりました。授業はもちろん学外においても、この4年間で学んだことは、貴重だったと思います。

受験勉強をする上で、辛いこともあると思いますが、そこで止まっていたのは前に進みません。うまく気持ちを切りかえて、がんばってください。

大学に入ってからが  
本当の始まり

工学部  
情報工学科 3年  
三重県出身



◆勉強するうちにももしろく

僕が情報工学科を選んだのは、学部の中で最も興味があったことと、実生活にも役立つだろうと思ったからです。実際に、パソコン関係のことには詳しくなり、生活に活きていると感じます。しかし、興味があったと言っても、最初の頃はわからないことが多く、単位を落してしまったこともあります。それでも、勉強していくうちにおもしろくなり、力もついてきたと感じます。

所属している研究室はコンピュータネットワークの講座です。研究室に配属されるのは4年生からですが、それまでにも卒業研究に向けて実践的な講義があります。3年生の前期には、翻訳辞書のプログラムを

共同で作りました。6週間という期限が決まっており、3つのパーツに分かれて作業を進め、最後にそれらをまとめて1つのプログラムにします。実際のプログラミングの現場でも同じような作業工程なので、実践的で刺激になります。

卒業研究では、「分散ハッシュテーブルによる部分キーの検索」というテーマで、インターネットの検索をいかに早くするか研究しました。同じ研究室では、新しいウィルスを防ぐ研究をしている人もいます。

◆やっぱり三重大

課外活動では、中学校の時にやっていたソフトテニス部に所属していました。練習は週に3回から、多いときには5回の時も

ありました。部員が50人ほどいたので、先輩後輩の縦の関係も学ぶことができました。楽しいことも辛いこともありましたが、根性がつき、成長したと思うので、続けて良かったと感じます。

卒業後はこのまま三重大学の大学院に進学します。進学するにあたって、他の大学院も検討してみましたが、自分の研究テーマに合っているというのがありますし、環境や空気自体が自分に合っていると感じ、やっぱり三重大だと決意しました。大学院では今の研究よりさらに高度なものを作りたいと思います。

僕自身も大学に入るまでに紆余曲折がありましたが、今となっては、大学に入ってからが本番だと改めて感じます。

工学部にはこんな研究室があります

- 量子・電子機械講座  
量子物性工学、メカトロニクス、システム設計、生体システム工学
- 機能加工講座  
材料機能設計、集積加工システム、超精密加工、プロセス解析
- 環境エネルギー講座  
エネルギー環境工学、エネルギーシステム設計、流動現象学
- 電気システム工学講座  
電機システム、制御システム・エネルギーシステム、計測システム
- 電子物性工学講座  
オプトエレクトロニクス、電子材料工学、凝縮電子工学
- 情報・通信システム工学講座  
情報処理、通信工学、計算機工学

- 分子設計化学講座  
高分子設計化学、有機精密化学、有機機能化学、計算化学
- 生物機能工学講座  
エネルギー変換化学、レーザー光学、分析環境化学、分子生物学
- 素材化学講座  
有機素材化学、無機素材化学、生体材料化学
- 建築学科  
建築計画系、建築環境設備系、建築構造系
- コンピュータサイエンス講座  
計算機ソフトウェア、コンピュータネットワーク、コンピュータアーキテクチャ
- 知能工学講座  
パターン情報処理、人工知能、ヒューマンインターフェース
- 量子工学講座  
量子物理学、物性物理学
- ナノ工学講座  
ナノデザイン、ナノセンシング、ナノエレクトロニクス、ナノプロセッシング
- 社会連携講座  
車載ネットワーク技術

就職先の一例（大学院修士課程修了者も含む）

学部卒業後は技術者として活躍するか、さらに大学院で知識を深めるか選択することになります。多くの企業では修士採用に重点を置くようになり、近年では5～6割の学生が大学院へ進学します。学士・修士どちらも就職希望者は毎年ほぼ100%就職しています。博士前期課程（修士）修了後、博士後期課程（博士）に進学すれば、企業や国立研究所などでの基礎研究や大学教員への道が開けます。

公務員関係

岡崎国立研究機構、航空自衛隊、三重県庁、津市役所、四日市市役所、鈴鹿市役所、伊勢市役所、名古屋市役所、三重県企業庁、和歌山市役所、高等学校教員など

一般企業

アイシンAW、旭硝子、川崎重工業、キャノン、京セラ、神戸製鋼所、三洋電機、シャープ、住友金属、ソニー、トヨタ自動車、日産自動車、日立製作所、本田技研工業、松下電工、三菱自動車、ヤマハ、コニカミノルタ、中部電力、東芝、富士通、松下電器産業、ローム、旭化成工業、ブラザー工業、島津製作所、ヤマハ、任天堂、名古屋鉄道、NTTドコモ、東京電力、中部電力、中部日本放送、東海テレビ放送、NEC、大塚製薬、花王、キャノン、東レ、凸版印刷、日本たばこ産業、日本電装、大林組、大成建設、鹿島建設、竹中工務店、セキスイハウス、三井ホーム、都市空間研究所、日立建設設計、NTTデータ東海テクシス、日立ソフトウェアエンジニアリング、松下システムエンジニアリング、三重電子計算センター、鈴鹿富士ゼロックス、クレハエラストマー、トーエネックなど

## 機械工学科

## ロボット・システム関連

電子機械学・制御工学を通じ、機械やロボットの制御、人と機械との融和、画像認識等について学びます。

## 材料力学・加工・ナノテクノロジー関連

機械を構成する材料の性質についての理解を深めて、機械強度や加工法、ナノテクノロジーなどについて学びます。

## 環境・エネルギー関連

流体力学、工業熱力学、流動現象学などの授業や演習、実験を通じ、流体や熱の流れ及び物質の拡散の様子を学ぶとともに、それらの環境・エネルギー問題への有効利用について考えます。

## 基礎・総合・エンジニア教育科目

電気回路論、電子回路工学、電磁気学、実験、設計、専門英語などを通じて電気電子工学の基礎を学び、技術者倫理、プレゼンテーション技法、工場見学などによりエンジニアとしての基礎能力を養います。

## ロボット・パワーエレクトロニクス・自然エネルギー分野

制御工学、パワーエレクトロニクス、電気システム工学などの講義・演習や実験・実習を通じてモーション・シーケンス制御、ロボット制御、電力制御システム、自然エネルギー利用発電システムなどについて学びます。

## コンピュータ・モバイル通信・医療電子工学分野

計算機工学、信号処理、情報通信工学などの講義・演習や実験・実習を通じて、コンピュータシステム、無線通信システム、知能情報システムなどについて学びます。

## ナノエレクトロニクス・光半導体・燃料電池分野

電気電子物性 線回折など材料評価・分析法および電気機器・電子部品に使用される電気電子材料について学びます。

## 有機・高分子化学分野

有機化学、高分子化学、有機光化学、バイオ合成化学などについて学びます。

## 無機・物理化学分野

無機化学、物理化学、計算化学、レーザー光化学、複合材料化学などについて学びます。

## 生物化学分野

生物化学、生体材料化学、生物工学、生物機能化学などについて学びます。

## 環境化学分野

分析化学、資源利用化学などについて学びます。

## 建築計画系

人間の生活・社会活動に適する魅力ある空間づくり習得のため、建築・都市計画、歴史や意匠などを学び、建築設計製図に取り組みます。

## 建築環境設備系

建築環境工学Ⅰ～Ⅲを通じて、建築環境における熱、空気、音、光の原理を理解し、それらを設計に応用する建築設備等について学びます。

## 建築構造系

建築力学Ⅰ～Ⅲ、建築構造材料、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、建築防災工学などを通じて、建築に関する力学理論、材料選択手法、安全性の概念を理解し、それらの設計への応用について学びます。

## コンピュータ基礎関連

プログラミング演習やコンピュータアーキテクチャなどの科目を通じて、コンピュータに必須であるソフトウェアとハードウェアの基礎やその応用について学びます。

## 情報技術(IT)関連

コンピュータネットワークやデータベース論などの科目を通じて、最新の情報技術(IT)について学びます。

## コンピュータ応用関連

コンピュータグラフィックスやデジタル信号処理などの科目を通じて、コンピュータをさまざまな問題に役立てる技術を学びます。

## セミナー・実験実習

1年生では、機械・電気電子・物理に関する入門的なセミナーをロボット製作などもまじえて行います。3年4年では、機械、電気電子に関する基礎的な実験、技術的な英語の論議を行います。

## 物理系

ミクロ世界の構成要素（電子、陽子など）の振舞いを記述する基本法則＝量子力学と具体的な物質の成り立ちについて学びます。統計力学、固体物理学、量子物理学、物性物理学などの授業科目を通じてナノテクの基礎を身につけます。

## 電気電子系

抵抗、コンデンサー、半導体など電子、電気素子の特性とその基礎になる電磁気学、応用としての回路特性、ナノテクデバイスなどについて学びます。

## 機械系

機械の力学、強度や作り方の基礎、先端材料の原子特性、構造およびその計測法をナノテクノロジーも含めて学びます。

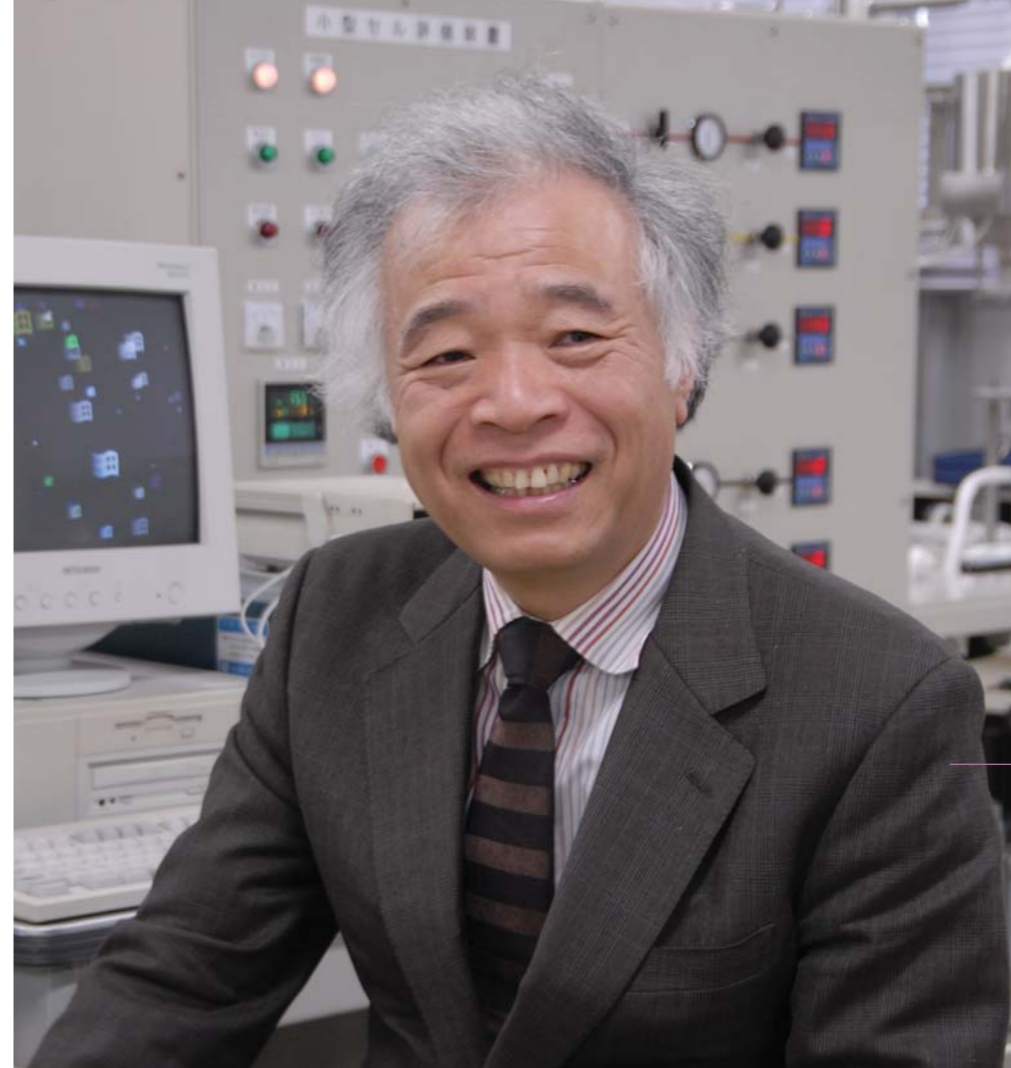
## 電気電子工学科

## 分子素材工学科

## 建築学科

## 情報工学科

## 物理工学科



工学部 分子素材工学科

武田 保雄 教授

## Profile

専門は固体化学 応用電気化学。最近、高性能で安全なリチウムイオン2次電池と固体の燃料電池の開発に力を注いでいる。研究モットーは「どんなにくだらないうことでも良いから世界初演をめざす」。

## モノづくりの楽しさを知ってほしい

工学部は開設30年ほどの、比較的新しい学部です。1学年が400人と規模は大きくありませんが、工学分野における重要な部分はカバーしています。また、教員1人あたりにおける学生数が少なく、できる限りマンツーマンによるきめ細かで丁寧な指導を心がけています。そして、モノづくりのおもしろさを味わってもらいたいので、講義が教員の一方通行にならないように工夫しています。その上で、学生のみなさんには、どんどんモノづくりにチャレンジしてってもらいたいと思っています。

我が学部では、大学卒業後、みなさんがどんな状況にも対応できるように指導しています。5～6割の学生が、大学院へ進学しますが、4年間のうちに、社会で必要な力を養えるような教育を行っています。実際の現場では、研究や開発以外にも、品質管理や問題点の発見といった力も必要になってくるからです。そうした力を学生時代に身につけられるような指導を行い、そ

の甲斐あってか工学部の就職率は高いです。また、他学部に比べれば少ないのですが、近年では女子学生の数も増えています。

## 実現が期待される研究

私の専門は、新しい電池材料の研究です。例えば、携帯電話やパソコンに使われているリチウムイオン電池の材料です。現在のものも性能は良いのですが、車や住宅に使うのは無理なので、それが可能なように、電池の性能を高める材料を研究しています。

そして、燃料電池の開発も行っています。燃料電池は大別すると、80度ほどの低温で使うものと、500度から1000度の高温で使うものがあります。高温で使う方が燃料効率は良いのですが、今のところなかなか良い材料がなく、まだ実用化されていません。実用化されれば、CO<sub>2</sub>の削減ができ、地球の温暖化防止にもつながります。

現在、燃料電池の開発において、三重県と共同研究を行っています。

水素と酸素から成る燃料電池が実現したら、家庭や病院、コンビニなどで使用でき、ロスの少ない効率的な燃料となるでしょう。

## 苦手科目があっても大丈夫

みなさんには、何でも挑戦してほしいと思います。どの学科にも言えることですが、自分で創意工夫する力が必要です。また、多少苦手科目があっても大丈夫です。基礎力は必要ですが、実際に数学が苦手な学生もいますし、研究のための勉強と受験勉強は違います。学びたいことも大まかなものが決まっていれば良いでしょう。どの分野が自分に合っているかは、入ってからでも見つかります。大切なのは、モノづくりが好きという気持ちです。

# 生物資源学部

Faculty of Bioresources

ますます深刻化する環境、食料、健康問題に対して、これからできることは何だろう。生物資源学部は持続的食料生産、地球環境保全、生命機能などをいろいろな場所から様々な視点で観察し、問題を解決するための技術やモノづくりを追い求めます。



## 生物資源学部では

生物資源に関連のある生物学、化学、物理学、社会科学、情報科学など幅広い講義や実験・実習が行われ、生物の持つ機能と役割、生物と環境との関係などを学び、生物資源の開発・利用・保全、自然との調和を考えた循環型社会の確立や地球環境問題の解決について研究します。

生物資源学部には、資源循環学科、共生環境学科、生物圏生命科学科の3学科があり、それぞれの特色を生かした教育と研究が行われています。また附属教育研究施設として、農場、演習林、水産実験所で組織される「紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター」と、全国でも数少ない練習船「勢水丸」があり、楽しく充実した実習が行われています。

生物資源学部は、次のような皆さんの入学を心待ちにしています。

- (1)自然を愛し、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- (2)自然科学に関心を持ち、その基礎的学力のある人。
- (3)幅広い学力と、基礎的な語学能力を持ち、さらに国際的に通用する基礎能力を身につける意欲のある人。
- (4)自ら行動し、生物資源に関する問題解決能力を身につける意欲のある人。

なお、学部ホームページや、学部パンフレットでも、生物資源学部の教育や研究について詳しく知ることができます。

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/>

## 資源循環学科

バイオ・情報・生産技術を駆使した循環型社会に向けて

人類は光合成によって植物が蓄積した太陽エネルギーを食物連鎖のかたちで取り込み、生命活動を続けています。この活動に利用できる生物体を私たちは生物資源と呼んでいます。この生物資源を効率よく循環利用する方法を教育・研究するのが、「資源循環学科」です。

## 共生環境学科

自然と共存できる環境の保全、修復の理論と技術

私たちのまわりの地球環境とのフレンドリーな関係の実現を目標として、「共生環境学科」では、大気・土・海・水・森林の環境問題の解明やエコシステムの保全に対処するために、  
・考える力と技術力を身につけた人材の養成をめざした教育  
・地球環境や地域を対象とした創造的研究をおこないます。

## 生物圏生命科学科

生命科学の基礎と生物生産に関する応用技術

生物資源の生命原理を生態系・群集・個体群・個体・器官・細胞および分子レベルで理解します。その成果を生物多様性の維持、持続的食料生産ならびに健康増進へ役立てることを目的として、基礎的および応用的な科学や技術に適用することを教育研究し、専門性と独創性を兼ね備えた幅広い人材を育成します。

山の頂から海の底まで、  
さまざまな生物資源や地球環境が  
研究対象です。

## 取得可能な免許・資格

取得可能な免許・資格（講座により異なります）

資源循環学科：食品衛生管理者・食品衛生監視員※、高等学校教諭一種免許（理科・農業）※、樹木医補※、ボイラー実技講習修了証※

共生環境学科：修習技術者（JABEE）※、測量士補※、2級建築士受験資格※、高等学校教諭一種免許（理科・農業）※、樹木医補※、ボイラー実技講習修了証※

生物圏生命科学科：修習技術者（JABEE）、食品衛生管理者・食品衛生監視員※、高等学校教諭一種免許（理科・農業・水産）※、樹木医補※、ボイラー実技講習修了証※

※は所定の単位取得が必要



生物資源学部  
生物圏生命科学科 3年  
三重県出身

自分の世界が  
広がったのは  
総合大学だから

◆最先端の研究で充実した毎日

僕が三重大を志望したのは、まず地元であること。そして、総合大学であり、1つのキャンパスに全学部が集まっているところ。確かに、地方ではありますが、キャンパスは広くて学生の数も多いので、いろんな人と知り合うことができます。僕は、陸上部に所属して、多くの友人や先輩、後輩ができました。他学部の話聞くことで、視野が広がったと思います。

現在、海洋生物を対象としたたんぱく質の研究、主に貝の筋肉の構造を解析しています。研究室はアットホームな雰囲気、先生はユーモアがあり、親しく接してくれます。そして何より、僕たち学

生の面倒をよくみてくれますし、丁寧に指導してください。先輩からも実験や薬品のことを教えてもらえるので、とても参考になります。僕は生物だけでなく化学も勉強したかったので、この学科を選択したのですが、最先端の領域が研究できて、充実した毎日を送っています。未知のこと、答えのないことを試行錯誤しながら解析するのは、やりがいがあると感じています。

◆貴重な体験ができた乗船実習

生物資源学部の大きな魅力は、附帯施設が充実していて、練習船勢水丸を持っていることです。そのおかげで乗船実習もでき、僕も11日間、東シナ海を航海し

たことがあります。それまでも乗船実習はありましたが、初めて長期間の航海に出て、貴重な体験ができたと思います。他にも農場や水産実験所、演習林といった附帯施設での実習を学部生全員が体験するので、専門分野以外のところから学ぶこともあります。どの実習でも、講義で習ったことを体験することで知識が定着しますし、現場でしか発見できないことがあります。

大学では、それまで自分が想像していた以上に自分の世界が広がり、多くのことを体験し、学ぶことができます。しかし、それは自分のやる気次第なので、積極的に学んでいきましょう。

講義を受けて  
さらに深まった  
景観への興味

生物資源学部  
共生環境学科 3年  
愛知県出身



◆先生の薦めで三重大へ

私が所属している自然環境システム学講座では、農学や林学を研究している人もいますし、地理情報システム(GIS)から防災や観光を研究している人もいます。私は高校時代から植物やまちの景観、色彩などに興味があり、大学ではそれらに関することを学びたいと考えていました。建築系でなく景観を研究できるところを探していたところ、高校の先生から三重大の生物資源学部を薦められ、愛知からも近いこともあり、志望しました。

実際に入学してみると、この学部は農学だけでも工学だけでもなく、幅広く学ぶことができ、自分の専門分野に

役立てることができます。ここでは、いろんな専門分野の先生方が教鞭をとられていて、とても刺激的です。どの講義もおもしろいので、入学前の考えとは異なる方向へ進む場合もあるでしょう。でも、私は講義を受けることで、さらに景観への興味が深まり、この講座に進む決意をしました。

◆景観の評価法とは

具体的には、伝統建造物保存地区とそうでない地区を比較、検討します。先日は先輩の調査に同行し、関宿に行きました。調査の際は、色表計というものを使い、屋根や壁の色などを調べます。景観というものは評価が難しい

ので、その評価方法を学んでいます。景観の違いというのは、色や明るさにも表れるのです。伝統建造物保存地区は、全体の色や造りが統一されて趣があり、まとまりがあります。

授業以外では、家庭教師のアルバイトは、教職課程をとっている私にとって勉強になることが多くありました。また、派遣のアルバイトでNHKの事務を経験し、実社会の厳しさを知り、良い社会勉強になりました。

もし今、やりたいことが見えていなくても、大学に入っているいろんな経験を重ねながら考えることもできるので、焦らずがんばってください。

三重大いまむかし

三重大学正門から右手に入ったところにある三翠会館。表紙にもなっている、この白いレトロな洋館からは、古さと新鮮さの2つの趣が感じられます。三翠会館は、三重大学の母体である三重高等農林学校の開校10周年記念事業として建築されたものです。昭和11年(1936)1月28日に着工し、同年9月24日竣工、同年11月1日に開館しました。

三翠会館の建築は、簡潔な意匠による経済的で技術的にも容易な様式体系が用いられ、昭和戦前期に建築された地方の木造公共建築の特色をよく留めていることから、平成14年(2002)に登録有形文化財に指定されました。また、開学50周年記念事業の一環として、「歴史から学べる記念館」をコンセプトに改修計画されました。人も建物も日々変化し、最先端の研究を行うキャンパスで、高等農林学校時代の唯一の既存建物として由緒ある風情を残しています。



過去3年間の就職先の一例

生物資源学部では、学部卒業予定者の3割ほどの学生が大学院へ進学します。

公務員  
関係等

農林水産省、農政局、中部整備局、北海道開発局、警視庁、東京大学、金沢大学、三重県職員、愛知県職員、大阪府職員、福井県職員、三重県教員、警察本部、その他地方公務員など

一般  
企業等

水資源機構、農業協同組合、漁業協同組合、愛知県土地改良事業団体連合会、赤塚グループ、スマリン農産工業、大島造園土木、安田木材、鹿島建設、西武造園、アサンテ、オンテックス、杉山コンサルタンツ、吉住工務店、伊藤ハム、マルヤス、明治乳業、ヤマモリ、敷島製パン、イチビキ、中京ココロラボトリング、日本たばこ産業、日本配合飼料、フジパン、カネハツ食品、カネ美食品、丸大食品、キュービー、山忠食品、味の素冷凍食品、ボンタイン珈琲、キューサイ、メイラク、井村屋製菓、愛知時計電機、菊川鉄工所、日本ガイシ、デンソーテクノ、アイシン精機、大鉄工業、静岡精機、マキタ、豊田鉄工、日本IBM、フタバ産業、バイエル薬品、四日市市立病院、中部電力、トヨタ情報システム愛知、NECソフトウェア中部、日本エスエルシー、日本コンピュータシステム、旭化成アマダス、松阪電子計算機センター、三重電子計算センター、トヨタカラーラ愛豊、ニトリ、中北薬品、福島ゼロックス、マックスバリュ中部、中部近鉄百貨店、ぎゅーとら、生活工房、岡崎信用金庫、サンワード貿易、島田信用金庫、名古屋大原法律専門学校、秀英予備校、野田塾、光ヶ丘女子高等学校、東京アカデミー学校大阪校、NOVA、中央出版、日本食品分析センター、海洋生態研究所、システムリサーチ、江ノ島水族館、日本食研、かね貞、東海テクノ、日本非破壊検査協会、二見シーパラダイスなど

## 物質循環学講座

草地・耕地・森林生態系における動植物、微生物、土壌の循環機能とそれらの相互関係の意義について、分子生物学から生態学に至る広い領域で学び、自然界における物質循環機能、人間と他の生物が共存できるエコシステムの構築について考えます。

## 循環生物学講座

動物・植物・微生物の持つ生物機能に関する情報を分子・遺伝子・細胞・個体・集団のレベルで収集・解析し、それらの情報と機能を利用することで、食品や生物資源の持続的な生産が達成されます。このような「生物の情報と機能」を私たちの生産活動に生かすためのバイオテクノロジーの知識と技術について学びます。

## 循環社会システム学講座

現代の社会・経済システムは、私たちの生活に豊かさをもたらしましたが、一方では生物資源の利用・開発において、きわめて大きな負担を自然・環境に与えてきました。本講座では、自然と共存し、社会の持続的発展が可能になるような人間の意識と行動、社会組織や制度のあり方を学びます。

## 地域保全工学講座

人が生きていくうえで食料は欠かすことはできません。その食料を生み出すためには、水田や畑などの農地、道や水路などの田圃施設、ため池などの水源施設などが必要です。これらの「農業基盤」の整備や維持なしでは食料を安定供給することはできません。地域保全工学講座では、これらの施設が自然と調和し、美しく豊かで住みやすい田圃を築くための方法を学びます。

## 環境情報システム工学講座

安全でかつできるだけ環境に負荷をかけない食料生産システムや環境プラント等を構築するために、情報計測・処理技術、システム工学的手法を用いて、環境保全を図りながらシステムデザイン技術や環境共生技術について学びます。

## 森林資源環境学講座

森林は地球環境や身近な環境にとって大切なものです。ここでは森林について、生態系の成り立ちや自然環境保全機能を理解し、その管理・保全技術のほか、素材としての開発技術などを森の中の研究・実習などを通じて学びます。

## 自然環境システム学講座

地球を構成する大気、海洋、土壌、生物圏などの基本的な構造や、地球環境に変化をもたらす様々な仕組みについて観測や解析を通して学びます。

## 生命機能科学講座

生命現象の仕組みや、鍵となる物質の構造と働きを分子・遺伝子レベルで明らかにし、その成果を生体の調節や、新しい機能をもつ分子・食品の開発に応用して、私たちの生活や健康維持に役立てる科学を学びます。

## 海洋生物科学講座

地球の70%を占める海は生物資源の宝庫であり、神秘の世界が残されています。そこにすむ生物の生理、生態、化学成分などを調べるとともに、遺伝子レベルの解析により海洋生物の保全や生命現象を明らかにしたり、食品・化粧品への利用をするためのマリンサイエンスを学びます。

## 陸圏生物生産学講座

私たち人類にとって必要不可欠な営みである農業について、最新の生物科学的手法を用いて研究し、安全で良質の食料の供給や緑豊かな環境の維持に役立てる方法について学びます。

## 水圏生物生産学講座

私たちは魚、貝、エビ、海藻など多くの水圏生物を食料としています。将来の世界的な食料不足を乗り越えるためにどうしたらこれらの生物を効率的に増やし利用できるのか。生理、生態、病理、行動、遺伝子、バイオテクノロジーなどの面からその方策を多面的に学びます。



生物資源学部 資源循環学科

常 清 秀 准教授

## Profile

水産物流通を専攻。流通段階だけではなく、安全・安定を前提とする水産物の持続的生産システムの構築、円滑な水産物流通システムの構築、そして、健全な消費のあり方なども視野に入れて研究を行っている。

総合的能力を育む  
文理融合の学部

生物資源学部は陸から水圏までのすべての動植物を対象として、こうした資源の開発・有効利用・保全および生態系の保全、環境問題の解決などについて、生物学、化学、物理学、社会科学などさまざまな側面から取り上げ、研究を行っています。そのため、ここで卒業・修了した学生は各種企業だけではなく、公務員、農業・漁業団体、教員など幅広い分野において活躍しています。

生物資源学部には大きな特徴が2つあります。ひとつめは、学内で初めて文理融合を実現した学部であることです。具体的には、資源循環学科には循環社会システム学という文系の講座を設け、私もその講座に所属しています。この講座は「生物資源の持続的利用・保全問題について、社会科学的な視点から教育・研究」を行っています。例えば、私が担当している「水産経済学」の授業では、水産資源の特質を解説し、それを踏まえて、資源の適正利用・管理と生産・消費のあり方などについて経済学的な視点から講義をしています。

このような文理融合の教育体制を構築したのは、当学部が積極的に社会のニーズに対応した結果でしょう。今の社会は、専門的な技術や知識のみ持っている人材より、総合的な視点から社会現象を客観的に分析・評価する能力も同時に持つ人材を求めています。当学部はその2つの能力を育成できる教育環境を整えているため、学生は幅広く勉強できるのです。文系に興味がありつつ理系として受験した学生も、理系を捨てきれず文系にもっと興味をもっている学生も満足できる、唯一の学部です。

## 理論と実践による学び体系

ふたつめは、フィールドを非常に重要視している点であり、それを可能としているのは農場や練習船、水産実験所、演習林といった附帯施設を持っているからです。この規模の附帯施設を持っている学部は全国の中でも数多くありません。我が学部の学生は全員、1年生からフィールドサイエンスセンター体験実習を行います。そして2、3年生になると、それぞれ選択したい講座、研究分野を決め、専門に応じて附帯施設を活用

し、学習します。このようにフィールドをベースとして、実践と理論の両方が強く、総合的な人材育成を目指して教育・研究を進めていることも魅力的な点です。特に、2006年4月から生物資源学部は大学院大学になり、その性格がより強くなりました。例えば、私の研究分野（資源経済システム学）に所属している学生、および大学院生の課題研究は、ほとんど事例調査に基づいて、問題を抽出・分析をしています。つまり、現場に行き、自分の目で見て、体で感じて、そして、自分の考察力で問題を発見・分析し、解決していく方法を探っていくような高度な分析・評価能力を育成しています。実際、大学院に進学し、修士課程修了後すぐ大手食品企業に採用され、幹部候補として大いに活躍している学生もいます。

また、生物資源学部は近年の女子学生が増えていることを踏まえて、女性の教員も増えています。現在、すでに6名の女性教員が各学科に所属し、女子学生へのサポート体制がしっかり整えています。これから受験予定の、特に理系の門をくぐりにくいと思っている女子学生の皆さん、ぜひ気楽に当学部を希望してください。一緒に頑張ってください。

# 共通教育

Common Education

みなさんが三重大学に入学して初めて出会うのは、この共通教育になります。ここでは授業選択やセミナー体験で自発性、自律性を身につけ、人間性を磨き、視野を広げます。所属学部にかかわらず、自由に選択できる科目群があるので、幅広い交友関係を築けます。また、大学でそして社会に必要なスキルを身につけることもできます。



## 自分との出会い、知との出会い

自分と出会うために、今、何を学びたいのか・知りたいのかを見つめなければなりません。大学でのキーワードである自発性・自律性を持つことが、授業の選択の時から不可欠になってきます。そして、知との出会いの場として、あるテーマについて視点が異なる何人もの先生の講義(総合科目)や、少人数のセミナー(PBLセミナー、共通セミナー)でじっくり探求できる授業があります。

## アピールポイント 新しい教育方法を導入しています。

「感じる力」「考える力」「生きる力」とその基盤となるコミュニケーション力を総合的に高め、世界に通じる人材をめざして

1

元気が出る学び体験  
問題発見・問題解決型セミナー  
(PBLセミナー)

2

仕事で使える外国語教育  
資格が取れる試験実施  
(英語TOEICテスト、中国語検定試験)

## 共通教育で実施する授業科目

### 統合教育科目 (総合科目、通常科目、共通セミナー、PBLセミナー)

統合教育科目では、専門学部では学べない領域に踏みこみ、知識や自分自身の幅を広げてください。ここでは3つの授業形態があります。「総合科目」は多数の教員による多角的な総合講義、「セミナー」は少人数を対象にした演習、「通常科目」は1名の教員による単一主題講義です。

次の様々な科目群があります。

「社会のしくみ」・「感性をみがぐ言語と芸術」

「情報化社会と数理科学」・「自然は生きている」

「国際理解と異文化接触」・「心と体を見つめなおす」

「環境問題と人間社会」・「創造と知的財産」

平成18年度から、「感じる力」「考える力」「生きる力」とその基盤となる「コミュニケーション力」を総合的に培うことをめざす問題発見・問題解決型セミナー(「PBLセミナー」)が始まっています。意欲的にこのセミナーを選択してください。

### 外国語教育科目

外国語教育科目は、語学力を高めるだけでなく、異文化に触れ、外国の考え方を理解する糸口となり、国際的なコミュニケーション力を育成します。英語では、習熟度別クラス編成を行っており、TOEICテストで評価しています。また、中国語では中国語検定試験を導入しています。

■既習外国語(英語)

■未習外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語)

### 保健体育教育科目

保健体育教育では、人間の生命・健康に関する科学に立脚し、学生生活や将来の社会生活を豊かにするために、生活の基本である健康・体力に対する認識を深めるとともに、これらを積極的に維持・増進していく方法を修得し、かつ実践する能力を養うことを目的としています。

■スポーツ健康学実習 ■スポーツ健康学概論 ■スポーツ実習

### 基礎教育科目

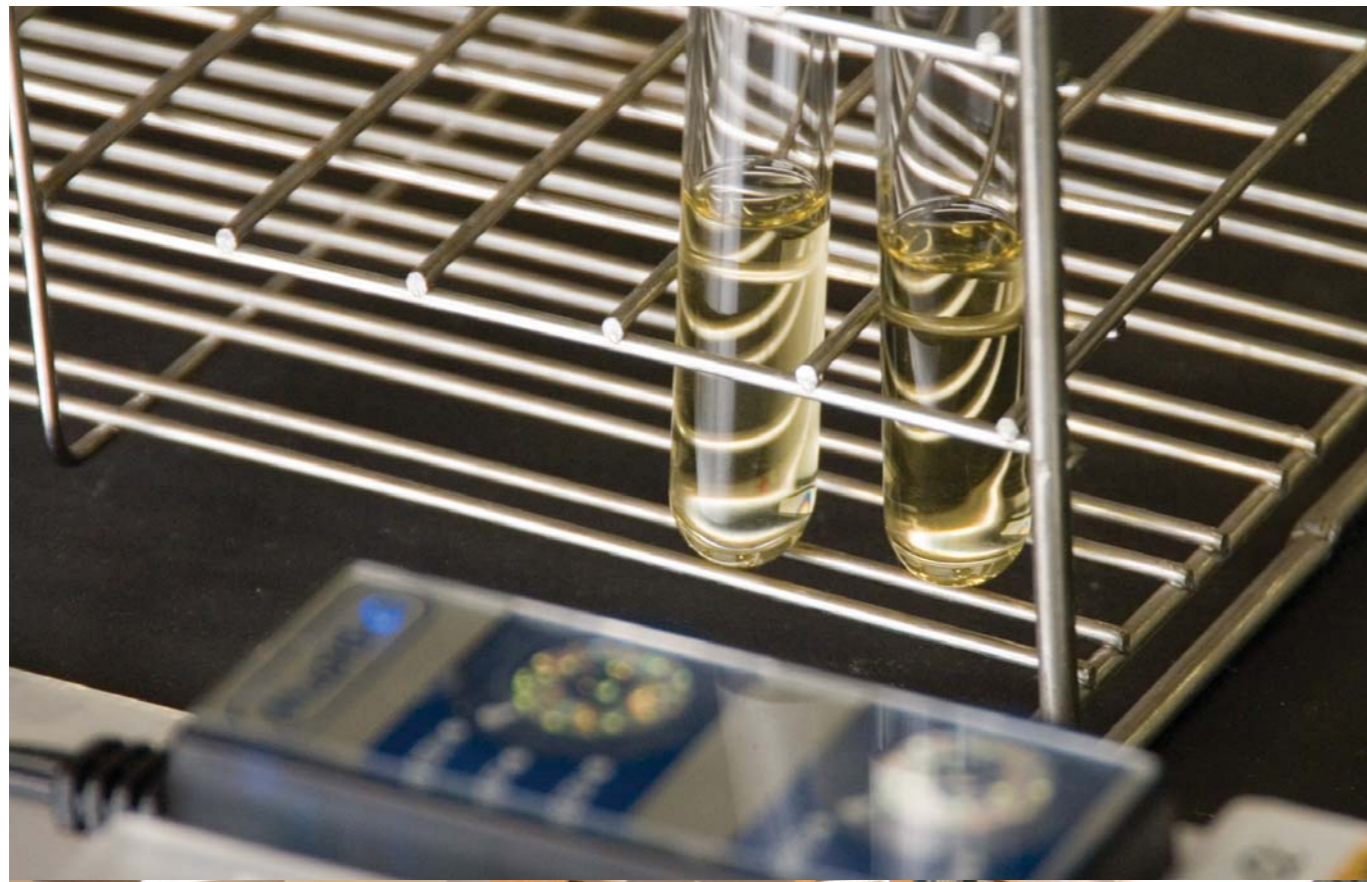
基礎教育科目では、これから大学で専門を学ぶ上で基礎になる情報科学、理系基礎科目を幅広く学びます。高校で学んだ知識をさらに発展させるだけでなく、未履修科目に対しても丁寧に基礎から学ぶ機会を提供しています。

■情報科学 ■理系基礎科目(数学、統計学、物理学、化学、生物学)

# 大学院等

Graduate School

大学院では、学部教育よりも高度な理論と応用を教授し、学術を通して幅広く社会の進歩や発展に貢献します。さらに近年では、高度専門職養成の場として、社会的役割は大きくなっています。三重大学大学院では、創造的な知性と国際的視野をもった、時代が求める研究者・スペシャリストを育成します。



## 人文社会科学研究科 (修士課程)

### ■ 地域文化論専攻

- 地域社会文化論専修
- 地域言語文化論専修

### ■ 社会科学専攻

- 地域行政政策専修
- 地域経営法務専修

## 教育学研究科 (修士課程)

### ■ 学校教育専攻

- 学校教育専修

### ■ 特別支援教育専攻

(平成20年度より  
障害児教育専攻から名称変更予定)

- 特別支援教育専修

### ■ 教科教育専攻

- |          |           |
|----------|-----------|
| ■ 国語教育専修 | ■ 社会科教育専修 |
| ■ 数学教育専修 | ■ 理科教育専修  |
| ■ 音楽教育専修 | ■ 美術教育専修  |
| ■ 保健体育専修 | ■ 技術教育専修  |
| ■ 家政教育専修 | ■ 英語教育専修  |

## 医学系研究科

修士課程

### ■ 医科学専攻

### ■ 看護学専攻

博士課程

### ■ 生命医科学専攻



## 専攻科

- 特別支援教育特別専攻科

## 別科

- 農業別科

## 工学研究科

博士前期課程 (修士課程)

### ■ 機械工学専攻

### ■ 電気電子工学専攻

### ■ 分子素材工学専攻

### ■ 建築学専攻

### ■ 情報工学専攻

### ■ 物理工学専攻

博士後期課程 (博士課程)

### ■ 材料科学専攻

### ■ システム工学専攻

## 生物資源学研究科

博士前期課程 (修士課程)

### ■ 資源循環学専攻

### ■ 共生環境学専攻

### ■ 生物圏生命科学専攻

博士後期課程 (博士課程)

### ■ 資源循環学専攻

### ■ 共生環境学専攻

### ■ 生物圏生命科学専攻



# キャンパスライフ

## Campus Calender

■の色文字は入試関係日程



### Club & Circle

三重大ではたくさんのクラブ・サークルが活動しています。長い伝統を持つクラブから、自分たちで作ったサークルまで、文化系・体育系を問わずそれぞれの団体が自己責任の上に運営・活動しています。

### 体育系 クラブ・サークル



- 陸上競技部
- 水泳部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- サッカー部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 馬術部
- 硬式テニス部
- ソフトテニス部
- ハンドボール部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- 卓球部
- ダンス部
- 体操競技部
- 剣道部
- 柔道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 日本拳法部
- 合気道部
- ワンダーフォーゲル部
- ゴルフ部
- 弓道部
- アーチェリー部
- ヨット部
- ボート部
- カッター部
- 自動車部
- トライアスロン部
- 応援団 など



## 三重大生に聞きました!

### Q1

三重大の好きなところ、入学して良かったところは?

- 1位 いい友達ができる
- 2位 海が近い
- 3位 キャンパスが広くて緑が多い

その他 部活に専念できる、海で思い出が作れるなど

### Q2

入学前の三重大のイメージは? おとなしい・地味 (多数)

そのイメージがどう変わった?

- 1位 明るい・楽しい
- 2位 個性的
- 3位 みんな性格がいい

### Q3

アルバイトの経験職種は?

- 1位 家庭教師
- 2位 塾講師
- 3位 飲食店

平均月収 4万円

その他 ガソリンスタンド、試験監督、イベント設営など

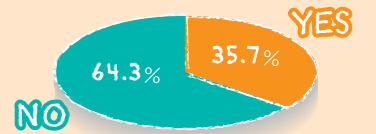
### Q4

家賃はいくら? (1人暮らしの人)

築年数や立地条件により異なりますが、4万円台という回答が多数でした。大学の近くには学生用下宿・アパート・マンション等たくさん建てられているので、自分の希望に応じたところで学生生活を送っているようです。

### Q5

現在付き合っている人がいますか?



(対象:三重大大学生157人)



## キャンパスカレンダー

美しい三翠に囲まれた三重大キャンパスでは、四季折々たくさんの行事が繰り広げられます。毎日の講義や実験、実習に加えて、三重大大学ならではの数々のイベントが、あなたの学生生活を豊かに彩ります。

### Club & Circle

課外活動を通して培われる友情や経験は、講義や実験では得ることができません。学部の枠を超えて多くの人と出会い、絆を深めることができるのは、総合大学ならではの魅力です。

### 文化系 クラブ・サークル



- 管弦楽団
- 吹奏楽団
- ギターマンドリンクラブ
- ギタークラブ
- 邦楽部
- 室内楽団
- 軽音楽部
- 合唱団
- 写真部・美術部
- 茶道部・華道部
- HELLO FM
- 囲碁部・将棋部
- E.S.S
- SF研究会 (テーブルトーク・ロールプレイング・ゲーム)

- 漫画倶楽部
- Wild Geese (生物研究会)
- 人形劇団 つくし
- BBS・めばえサークル (ボランティア)
- MAFF・てらこや (留学生支援)
- 落語研究会
- みえシネマ・アーカイブ
- ねばぎぶ (演劇サークル)
- リカゲル (小説・イラストの制作)
- KLUB KLAVIER (ピアノ同好会)
- 万葉旅行の会
- かめつぶり (海ガメの研究) など





# 学生総合支援センター

Support Center



## 学生なんでも相談室

(修学支援、生活支援、総合支援)

相談内容は、修学上の問題・生活上の問題・対人関係の問題はもちろん、学内の施設案内など、どんな小さなことでもかまいません。一人で悩むことなく、気軽に相談室を利用してください。

## 保健管理センター

(健康支援)

学生・教職員の健康管理のため保健管理センターがあります。また、専任の医師(内科・精神科)、看護師及びカウンセラーが専門の立場から“からだ”と“こころ”の健康相談も行っています。

## キャリア支援センター

(キャリア教育、インターンシップ、就職支援)

学生が入学後の早い時期から将来の夢や働くことについて考える機会を提供し、しっかりとした職業観を育成すると共に目的意識をもって学生生活を送れるようにキャリア教育、インターンシップ、就職活動支援等を進めます。

就職支援事業

1. **キャリア教育**: 1年生から職業観育成のための授業科目を開講
2. **インターンシップ**: 就職体験を通じて職業観を確立させるため実施
3. **就職ガイダンス**: 職業観育成のため及び就職活動のための各種ガイダンスを開催
4. **就職相談**: キャリア・デベロップメント・アドバイザーによる就職相談室を設置
5. **資格取得講座**: 学内で各種資格取得等のための講座を開講  
(公務員試験対策、TOEIC、ファイナンシャルプランナー、行政書士、宅地建物取引主任、簿記検定、初級シスアド、マイクロソフトオフィススペシャリスト、秘書検定、販売士、色彩能力検定)
6. **模擬試験**: 企業等採用(時事、教養)模試、公務員採用模試、教員採用模試を実施

## 学生寮

大学に近い閑静な場所に男子寮、女子寮があるほか、平成9年度からは、新たに国際女子寮が設置され、多くの学生が共同生活をしながら就学に励んでいます。  
なお、本学学生寮の入居選考については、経済状況、地理的状况等について応募書類を審査して行います。

### 学生寮収容人員等

名称	収容人員	居室		寄附料(月額)	備考
		一室収容	面積		
男子寮	254名	2名	14m <sup>2</sup>	700円	大学まで徒歩約15分
女子寮	66名	1名	9m <sup>2</sup>	4,300円	大学まで徒歩約3分
国際女子寮	75名	1名	13m <sup>2</sup>	5,900円	日本人50名 留学生25名 大学構内



## 経済支援

### 入学料免除

入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納付が著しく困難である者については、本人の願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

### 授業料免除

経済的理由で授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対し、本人の願い出により選考の上、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

### 奨学金制度

学業成績及び人物とも優れた学生であって、経済的理由により修学が困難な事情にある者のために、日本学生支援機構が奨学金を貸与する制度があります。奨学金の種類と貸与金額は、下記のとおりです。

また、日本学生支援機構のほかに、地方公共団体及び民間育英団体等による奨学金制度もあります。

奨学金の種類	貸与金額(月額)		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種奨学金	45,000円	51,000円	無利子
第二種奨学金	3・5・8・10万円から選択		卒業後年利3%を上限とする利息付

# 三重大学 キャンパスマップ

Campus Map



91万冊に上る図書・雑誌を所蔵しています。視聴覚資料、マルチメディア機器、海外衛星放送受信装置も配置。

① 附属図書館



② 第一食堂



③ 講堂(三翠ホール)



④ 総合情報処理センター



⑤ 医学部附属病院 建て替え完成予想図



### フィールドサイエンスセンター

三重県の津市に農場、演習林、志摩市に水産実験所が設置されており、様々な農林水産物、環境、自然エネルギーなどに関する教育研究拠点として利用されています。



### 附属練習船勢水丸

大学キャンパスの南20kmにある松阪港を定港として実習・調査観測に活躍しています。体験演習では基礎的な船上活動や海洋調査の方法等について学びます。

伊勢湾



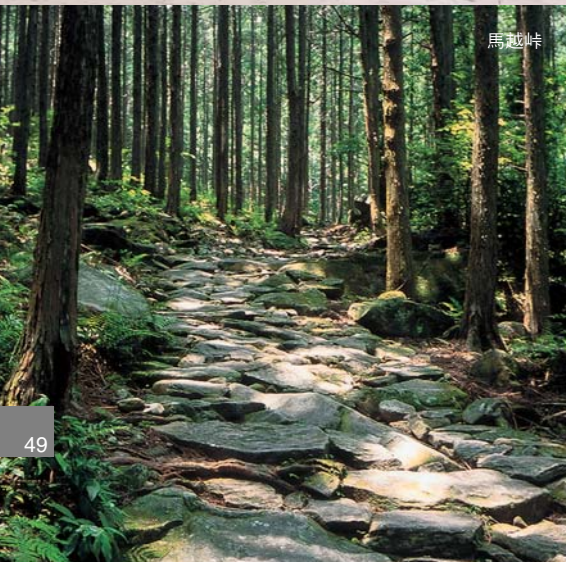
SHARP亀山工場



松尾芭蕉



馬越峠



# 三重県って どんなところ?

Information about Mie

## 松尾芭蕉

「奥の細道」で有名な松尾芭蕉は、伊賀の地で生まれました。伊賀市内には芭蕉翁生家や養虫庵など、芭蕉ゆかりの俳蹟以外に、忍者屋敷や伊賀流忍者博物館などがあります。

## SHARP亀山工場

世界初の液晶テレビ生産工場。亀山工場製パネルの液晶テレビは「亀山モデル」と呼ばれるように。

## 松阪牛

1頭1頭手塩にかけ肥育された松阪牛は、日本一の肉牛として認められ、味のすばらしさは「肉の芸術品」として日本だけでなく、世界でも賞賛されています。



## Kumano

## 熊野古道

紀伊半島南部にあたる熊野の地と、伊勢や大阪・和歌山、高野、吉野とを結ぶ古い街道の総称。「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されました。

## 伊勢えび



## 江戸川乱歩

多くの推理小説を遺した江戸川乱歩は名張で生まれました。

## 本居宣長

18世紀最大の日本古典研究家。伊勢国松坂(現松阪市)に生まれ、医業の傍ら日本古典を研究。



## Matsusaka

## 江戸川乱歩

多くの推理小説を遺した江戸川乱歩は名張で生まれました。

## 本居宣長

18世紀最大の日本古典研究家。伊勢国松坂(現松阪市)に生まれ、医業の傍ら日本古典を研究。



## 三重大学

## 鈴鹿サーキット

日本を代表するサーキット。「コカ・コーラ」鈴鹿8時間耐久ロードレースでは熱いドラマが生まれます。園内には遊園地もありモータースポーツ以外にも楽しめます。

## ナガシマスパーランド

広い園内にはホワイトサイクロン、ジャンボ海水プールなどたくさんのアミューズメント施設があり1年を通して楽しむことができます。たくさん遊んだ後は温泉でリラックス。

## 井村屋製菓

肉まん・あんまんや、あずきバーなどおなじみの味は、ここで生まれました。

## おにぎりせんべい

おにぎりせんべいを作るマサヤの本社はここにあります。

## ベビースターラーメン

ご当地限定味も人気の「ベビースター」の生みの親、おやつカンパニーはここが本社。

## 神宮

「伊勢神宮」と呼ばれていますが、単に「神宮」というのが正式名称です。20年に1度の大祭、神宮式年遷宮は平成25年に第62回を迎えます。

## あわび

三重県では鳥羽・志摩地方を中心にリアス式海岸が発達し、岩礁域が広がる好漁場となっており、海女漁業が行われています。

## 鳥羽水族館

全長約240m、通路全長約1.5kmと室内型水族館では世界でも類を見ない大きさ。世界初スナメリの赤ちゃん誕生、日本初のラッコ2世の誕生など海洋生物の保護・育成にも力を入れています。



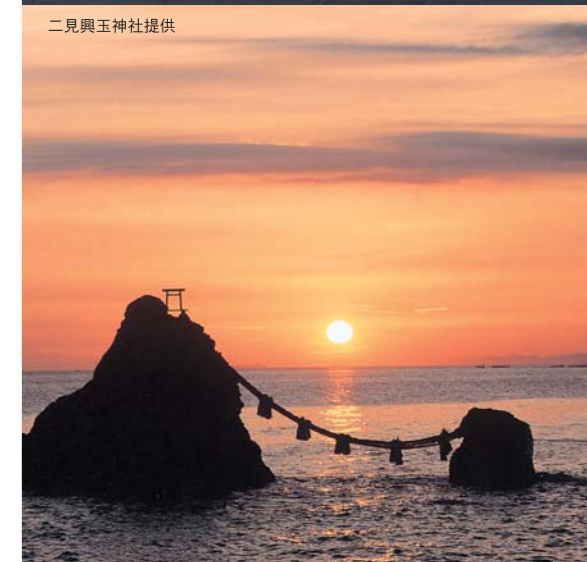
神島からの風景

## 神島

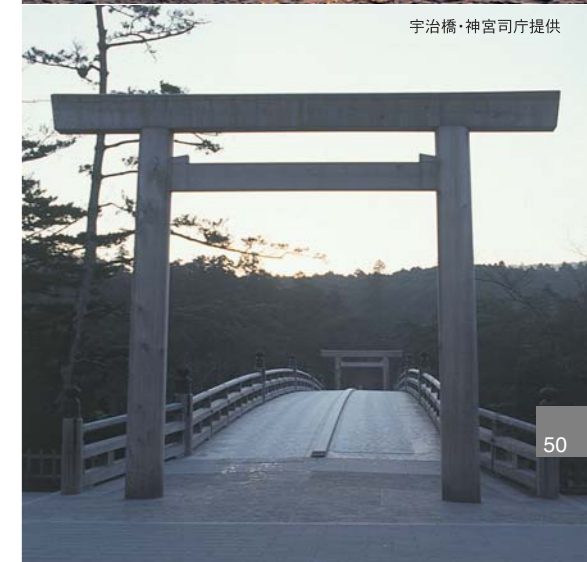
三島由紀夫の代表作ともいえる「潮騒」の舞台となりました。



二見興玉神社提供



宇治橋・神宮司庁提供



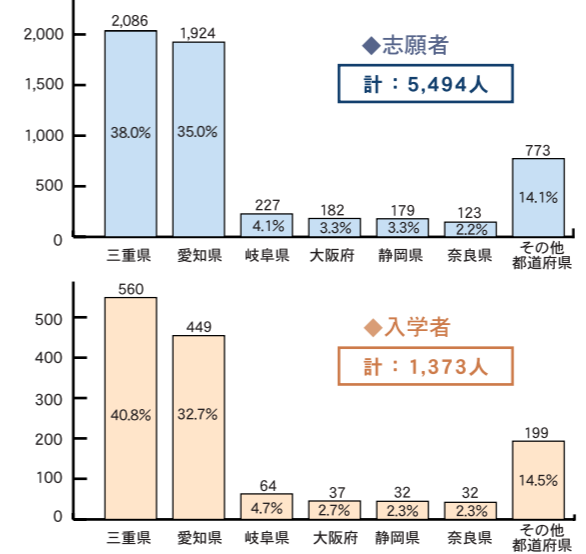
■平成19年度一般選抜志願者・入学者

区分	学部学科等	前期日程			後期日程				
		募集人員	志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率	入学者	
人文学部	文化学科	67	192	2.9	82	25	277	11.1	25
	社会科学科	122	433	3.5	130	35	376	10.7	37
	計	189	625	3.3	212	60	653	10.9	62
教育学部	学校教育教員養成課程	116	560	4.8	152	26	315	12.1	21
	情報教育課程	12	44	3.7	10	8	63	7.9	14
	生涯教育課程	10	66	6.6	14	3	26	8.7	3
	人間発達科学課程	14	86	6.1	18				
	計	152	756	5.0	194	37	404	10.9	38
医学部	医学科	70	278	4.0	73	10	116	11.6	10
	看護学科	55	114	2.1	54	17	138	8.1	18
	計	125	392	3.1	127	27	254	9.4	28
工学部	機械工学科	48	140	2.9	65	20	34	1.7	2
	電気電子工学科	50	115	2.3	63	18	87	4.8	9
	分子素材工学科	50	132	2.6	56	40	315	7.9	32
	建築学科	30	121	4.0	31	10	75	7.5	9
	情報工学科	48	123	2.6	59	12	57	4.8	7
	物理工学科	25	46	1.8	33	10	91	9.1	6
計	251	677	2.7	307	110	659	6.0	65	
生物資源学部	資源循環学科	30	145	4.8	38	10	45	4.5	4
	共生環境学科	50	98	2.0	50	21	106	5.0	29
	生物圏生命科学科	55	145	2.6	59	24	125	5.2	20
計	135	388	2.9	147	55	276	5.0	53	
合計		852	2,838	3.3	987	289	2,246	7.8	246

■平成19年度特別選抜等志願者・入学者

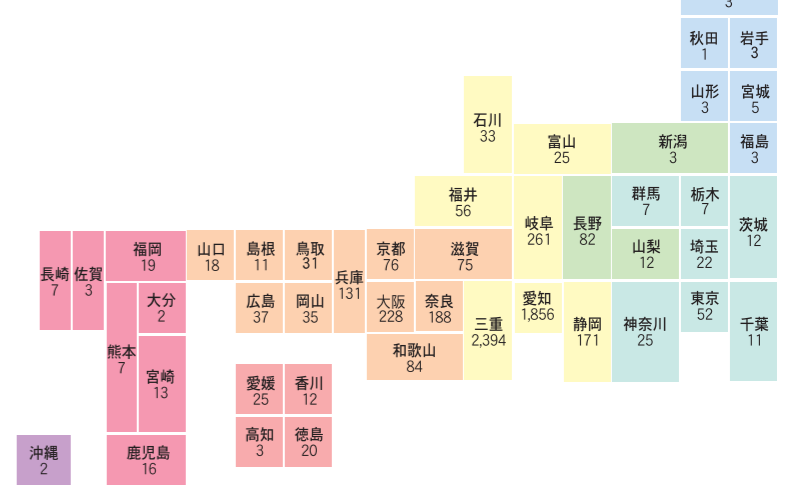
区分	学部	学科	募集人員	志願者	入学者
推薦入学	教育学部	物理工学科	5	11	4
		学校教育教員養成課程	3	23	4
		生涯教育課程	2	2	2
		人間発達科学課程	6	29	7
		計	11	54	13
	医学部	医学科	20	94	21
		看護学科	5	19	5
		計	25	113	26
	工学部	機械工学科	12	47	13
		電気電子工学科	12	31	12
		分子素材工学科	10	26	12
		計	34	104	37
	生物資源学部	資源循環学科	18	20	18
共生環境学科		12	40	19	
生物圏生命科学科		14	60	19	
計	44	120	56		
合計		114	391	132	
帰国子女特別選抜	人文学部	文化学科	3	2	0
		社会科学科	3	1	1
		計	6	3	1
	生物資源学部	資源循環学科	1	0	0
		共生環境学科	1	0	0
計	3	0	0		
合計		9	3	1	
社会人特別選抜	人文学部	文化学科	5	0	0
		社会科学科	5	0	0
		計	10	0	0
	医学部	看護学科	3	5	3
	生物資源学部	資源循環学科	1	0	0
		共生環境学科	1	0	0
		生物圏生命科学科	1	0	0
計	3	0	0		
合計		16	5	3	

■平成19年度出身県別志願者・入学者の割合



■出身県別在学生人数

平成19年 5月1日現在  
 全県合計 6,122人 (外国人留学生等を除く)  
 90人 (外国人留学生等)



■平成20年度募集人員等

1. 医学部医学科の推薦入学における募集人員(20人)には、地域枠10人を含みます。 2. アドミッション・オフィス入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、前期日程で行います。  
 3. 推薦入学で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。 4. 帰国子女特別選抜及び社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部は後期日程で、生物資源学部は前期日程で行います。  
 5. 医学部看護学科の社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。

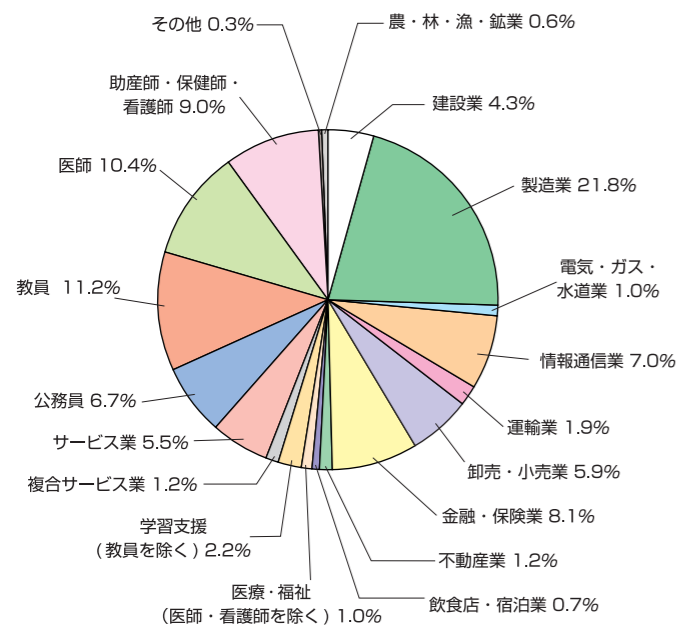
学部	学科・課程・コース	入学定員	募集人員					
			一般選抜		アドミッション・オフィス入試	特別選抜		
			前期日程	後期日程		推薦入学	帰国子女	社会人
人文学部	文化学科	100	67	25			3	5
	社会科学科	165	122	35			3	5
	計	265	189	60			6	10
教育学部	学校教育教員養成課程	国語教育コース		13				
		社会科教育コース		8	3			
		数学教育コース		11	5			
		理科教育コース		12	4			
		音楽教育コース		5	3			
		美術教育コース		8				
		保健体育コース	145	7	4			
		技術教育コース		7			1	
		家政教育コース		8				
		英語教育コース		15				
	特別支援教育コース		8	4				
	幼児教育コース		10					
	学校教育コース		7			2		
小計		119	23		3			
情報教育課程		20	12	8				
生涯教育課程	スポーツ健康科学コース	消費生活科学コース	15	5		2		
		小計	10	3	2			
	人間発達科学課程		7			3		
日本語教育コース	20	7			3			
小計		14			6			
計		200	155	34		11		
医学部	医学科	100	70	10		20		
	看護学科	80	55	17		5	3	
	計	180	125	27		25	3	
工学部	機械工学科	80	45	13	22			
	電気電子工学科	80	40	18	22			
	分子素材工学科	100	45	40	15			
	建築学科	40	30	10				
	情報工学科	60	40	10	10			
	物理工学科	40	25	10	5			
計	400	225	101	74				
生物資源学部	資源循環学科	60	30	10		18	1	
	共生環境学科	85	50	19		14	1	
	生物圏生命科学科	95	55	20		18	1	
	計	240	135	49		50	3	
合計		1,285	829	271	74	86	9	16

## 平成18年度三重大学卒業者の就職状況

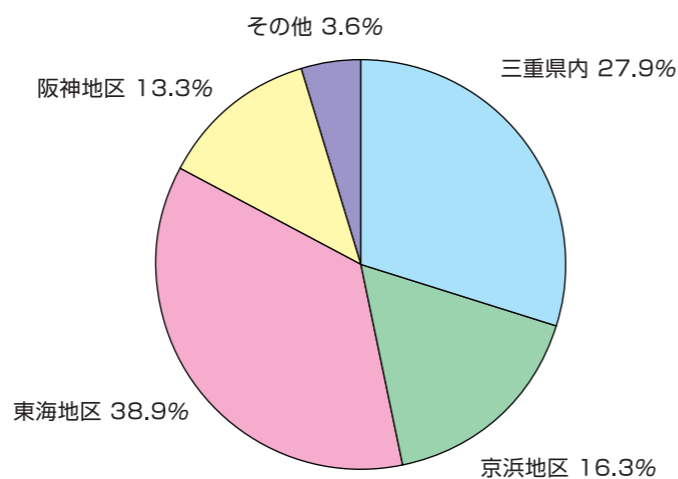
区分	学部	人文学部	教育学部	医学部		工学部	生物資源学部	合計
				医学科	看護学科			
卒業生数		311 ( 196)	218 ( 141)	97 ( 29)	89 ( 84)	402 ( 58)	258 ( 104)	1,375 ( 612)
内 卒業生	就職者数	246 ( 160)	168 ( 111)	94 ( 27)	84 ( 79)	186 ( 44)	126 ( 61)	904 ( 482)
	進学者数	16 ( 11)	23 ( 16)		4 ( 4)	202 ( 12)	106 ( 29)	351 ( 72)
	その他	49 ( 25)	27 ( 14)	3 ( 2)	1 ( 1)	14 ( 2)	26 ( 14)	120 ( 58)
	計	311 ( 196)	218 ( 141)	97 ( 29)	89 ( 84)	402 ( 58)	258 ( 104)	1,375 ( 612)
求人件数		2,649	2,740	2,827		5,121	3,808	17,145
就職者の産業別内訳	農・林・漁・鉱業	2 ( 1)					4 ( 0)	6 ( 1)
	建設業	5 ( 3)	1 ( 1)			28 ( 10)	5 ( 4)	39 ( 18)
	製造業	36 ( 22)	12 ( 5)			105 ( 18)	44 ( 21)	197 ( 66)
	電気・ガス・水道業	2 ( 0)				5 ( 0)	2 ( 0)	9 ( 0)
	情報通信業	16 ( 9)	15 ( 7)			19 ( 4)	13 ( 6)	63 ( 26)
	運輸業	8 ( 4)	1 ( 0)			2 ( 1)	6 ( 4)	17 ( 9)
	卸売・小売業	37 ( 21)	8 ( 6)			3 ( 1)	5 ( 2)	53 ( 30)
	金融・保険業	54 ( 41)	10 ( 10)			2 ( 1)	7 ( 6)	73 ( 58)
	不動産業	4 ( 3)	2 ( 2)			3 ( 2)	2 ( 0)	11 ( 7)
	飲食店・宿泊業	4 ( 3)	1 ( 1)				1 ( 0)	6 ( 4)
	医療・福祉 (医師を除く)	2 ( 2)	1 ( 1)			3 ( 1)	3 ( 3)	9 ( 7)
	学習支援 (教員を除く)	10 ( 9)	7 ( 6)				3 ( 1)	20 ( 16)
	複合サービス業	7 ( 5)	1 ( 0)				1 ( 1)	11 ( 6)
	サービス業	22 ( 15)	11 ( 7)				17 ( 7)	50 ( 29)
	公務員	25 ( 13)	12 ( 10)		3 ( 3)	11 ( 5)	10 ( 3)	61 ( 34)
	教員	10 ( 8)	86 ( 55)			2 ( 1)	3 ( 3)	101 ( 67)
	医師			94 ( 27)				94 ( 27)
	助産師・保健師・看護師				81 ( 76)			81 ( 76)
	その他	2 ( 1)				1 ( 0)		3 ( 1)
	計	246 ( 160)	168 ( 111)	94 ( 27)	84 ( 79)	186 ( 44)	126 ( 61)	904 ( 482)
就職先地域	三重県内	54 ( 41)	79 ( 59)	39 ( 14)	33 ( 30)	23 ( 8)	24 ( 10)	252 ( 162)
	京浜地区	42 ( 30)	14 ( 10)	16 ( 3)	4 ( 4)	40 ( 11)	31 ( 17)	147 ( 75)
	東海地区	118 ( 68)	53 ( 34)	20 ( 6)	29 ( 28)	82 ( 17)	50 ( 23)	352 ( 176)
	阪神地区	23 ( 16)	16 ( 6)	16 ( 2)	16 ( 15)	35 ( 6)	14 ( 8)	120 ( 53)
	その他	9 ( 5)	6 ( 2)	3 ( 2)	2 ( 2)	6 ( 2)	7 ( 3)	33 ( 16)
	計	246 ( 160)	168 ( 111)	94 ( 27)	84 ( 79)	186 ( 44)	126 ( 61)	904 ( 482)

( ) 内は女子を内数で示す

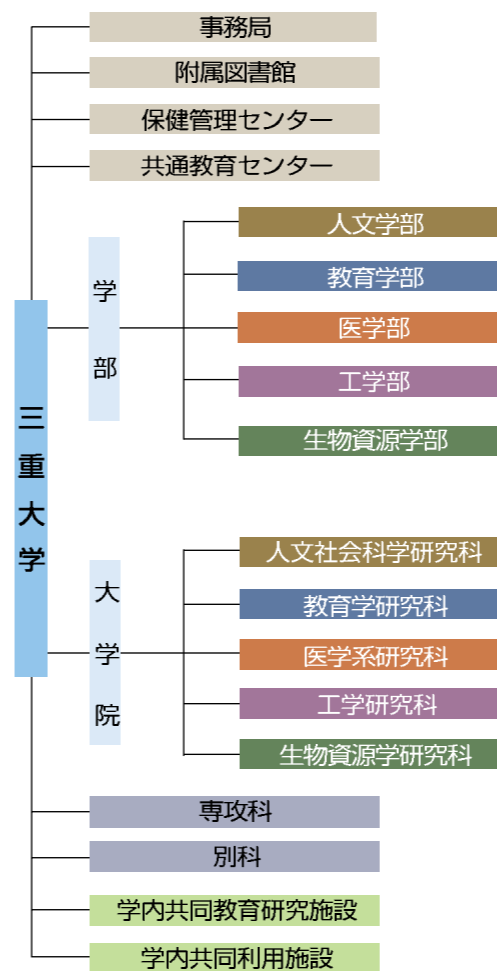
## 産業別就職状況



## 地域別就職状況



## 教育研究組織

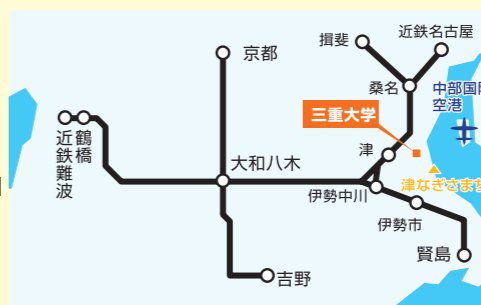


## 沿革

明治7年8月	度会県師範学校設立
昭和24年5月	三重大学 (学芸学部、農学部) 設置
昭和41年4月	大学院農学研究科修士課程設置
昭和44年4月	工学部設置
昭和47年5月	医学部、水産学部設置 (三重県立大学から移管)
昭和50年4月	大学院医学研究科博士課程設置
昭和53年4月	大学院工学研究科修士課程設置
昭和58年4月	人文学部設置
昭和62年10月	生物資源学部設置
昭和63年4月	大学院生物資源学研究科修士課程設置
平成元年4月	大学院教育学研究科修士課程設置
平成3年4月	大学院生物資源学研究科博士課程設置
平成4年4月	大学院人文社会科学研究科修士課程設置
平成7年4月	大学院工学研究科博士課程設置
平成13年4月	大学院医学研究科修士課程設置
平成16年4月	国立大学法人三重大学へ移行
平成17年4月	大学院医学系研究科を部局化 (講座化)
平成18年4月	大学院工学研究科を部局化 大学院生物資源学研究科を部局化

## 交通案内

- 近鉄江戸橋駅 (三重大学前) から徒歩で約15分
- 津駅前バスのりば (津駅東口) 「4番のりば」から三重交通バス「白塚駅前」、「棕本」、「豊里ネオポリス」、「三重病院」、「太陽の街」「サイエンスシティ」行きに乗車「大学病院前」又は「大学前」で下車
- 津駅からタクシーで約10分
- 津I.Cから約20分、芸濃I.Cから約25分



**近鉄特急**  
名古屋ー津 約50分 難波ー津 約90分  
京 都ー津 約120分  
(津で急行または普通に乗り換え)  
津ー江戸橋 約2分

## 問い合わせ

試験全般に関することは  
**三重大学学務部入試チーム**  
TEL 059-231-9063  
<http://www.mie-u.ac.jp/nyushi/>

## 三重大学携帯電話サイト

オープンキャンパス情報、資料請求方法、出願状況速報などの各種入試情報などを携帯電話で閲覧できます。



■三重大学の携帯電話サイト  
本学の各種情報を携帯電話でも見られます。 <http://daigakuic.jp/u.php?u=00062>

■ハートシステム  
大学のさまざまな情報が得られます。 <http://www.heart.dnc.ac.jp/>

■人文学部チーム	TEL 059-231-9197	<a href="http://www.human.mie-u.ac.jp/">http://www.human.mie-u.ac.jp/</a>
■教育学部チーム	TEL 059-231-9350	<a href="http://www.edu.mie-u.ac.jp/">http://www.edu.mie-u.ac.jp/</a>
■医学部・医学系研究科チーム	医学科担当 TEL 059-231-5063 看護学科担当 TEL 059-231-5239	<a href="http://www.medic.mie-u.ac.jp/">http://www.medic.mie-u.ac.jp/</a>
■工学部・工学研究科チーム	TEL 059-231-9469	<a href="http://www.eng.mie-u.ac.jp/">http://www.eng.mie-u.ac.jp/</a>
■生物資源学部・生物資源学研究科チーム	TEL 059-231-9631	<a href="http://www.bi.mie-u.ac.jp/">http://www.bi.mie-u.ac.jp/</a>